

Operation Manual

Operation Manual

取扱説明書

ラフテレーンクレーン GR-700N

型式記号：GR-700N-1
適用製造番号：FE0376～

この取扱説明書を読んでから操作してください。
この取扱説明書はいつでも読めるよう、運転室内に保管してください。

取扱説明書

GR-700N-1_OM1-1GJ

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below

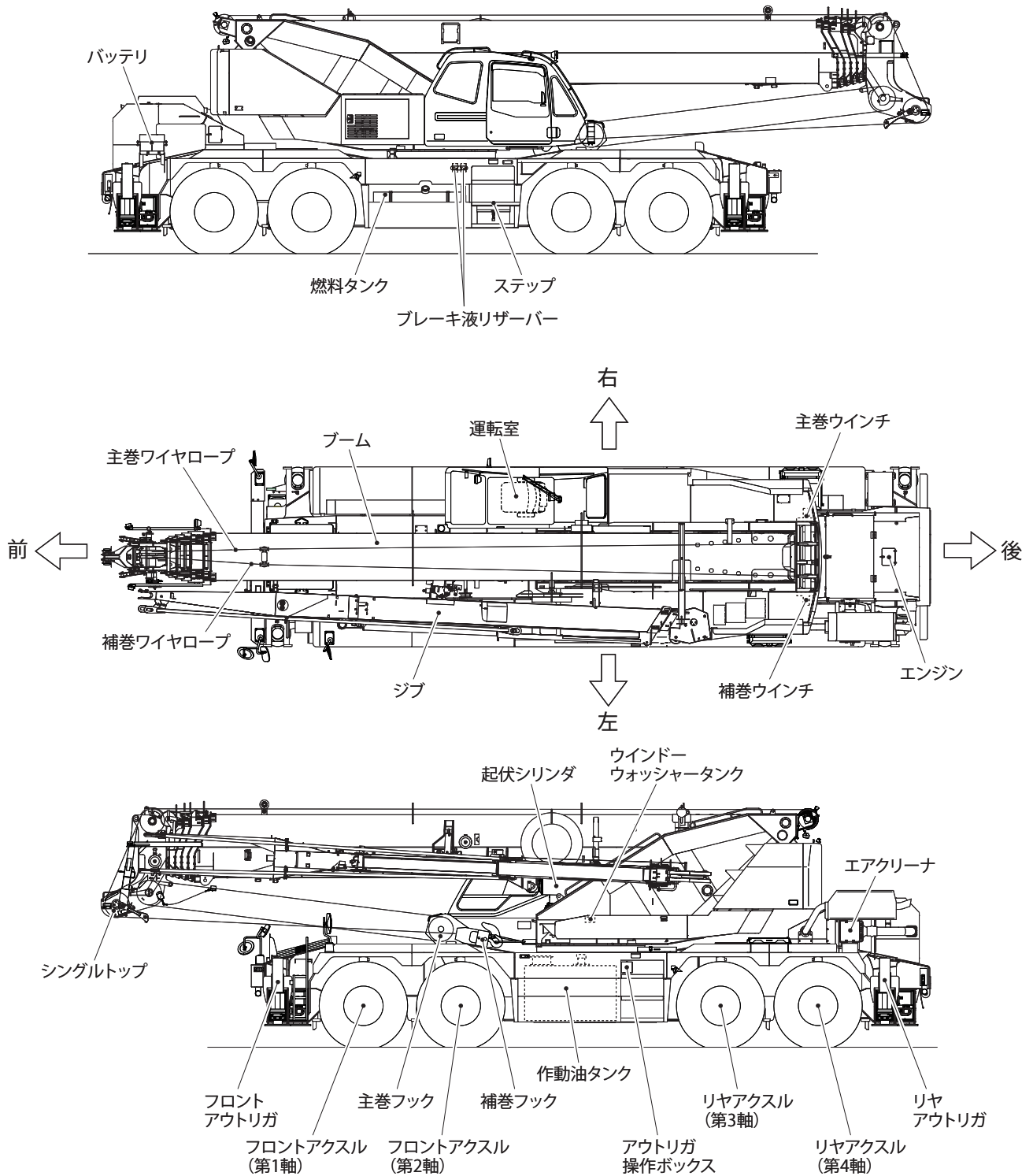


- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

各部の名称

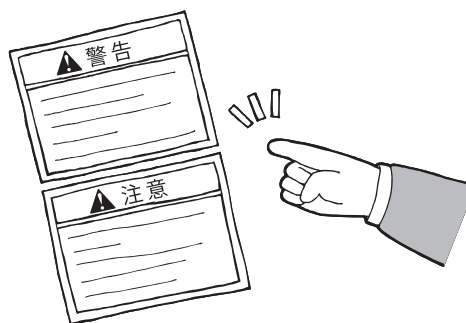
前・後・左・右とは、ブームをフレーム前方に向け、運転席に座った位置から見た方向をいいます。上部旋回体の旋回方向に関係なく一定です。



K07301-00J

・警告ラベル（銘板）の扱い

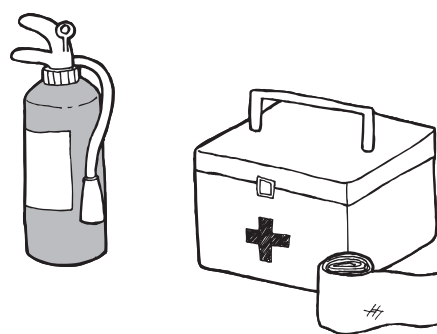
機械の各部に貼られている警告ラベル（銘板）は、機械を使用するうえでの重要な注意事項などを説明しています。警告ラベル（銘板）はいつもきれいにし、読める状態にしておいてください。警告ラベルが無くなったり破損しているものがあれば、タダノ指定サービス工場に注文して取り付けてください。



G05003-00J

・万一に対する備えを

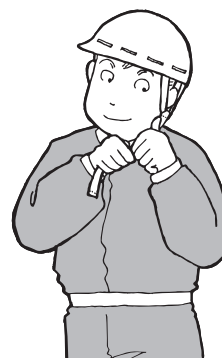
万一の事故や火災に対して、救急箱や消火器の保管場所や使用方法を知っておいてください。また、緊急時の連絡先や連絡方法などについて決めておいてください。



G05004-000

・安全な服装で

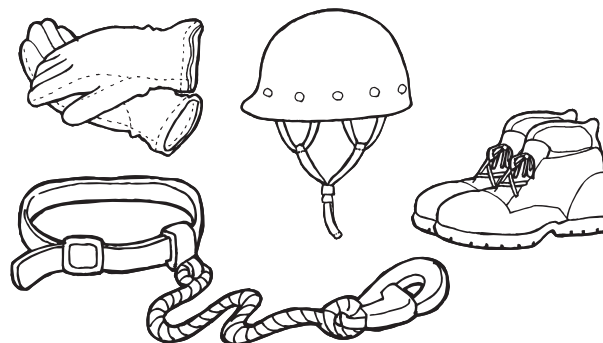
乱れた服装をしていると、上着の裾や袖口が機械の突起物や操作レバーなどに引っかかり、思わぬ事故を起こすことがあります。きちんとした服装をしてください。



G05005-000

・保護具を着用する

安全のため、ヘルメット・安全靴・保護手袋などの保護具を、作業時に着用してください。高所（2m以上）での作業時は、安全帯を着用してください。

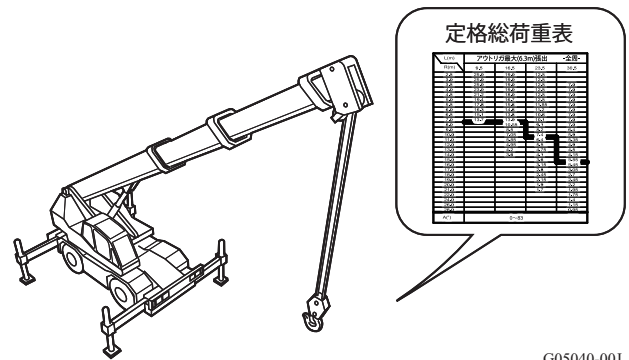


G05006-000

・作業条件を守る

アウトリガ張出幅・ブーム長さ・作業半径などを、定格総荷重表に示されていない状態にして作業を行うと、場合によっては荷をつらなくても機械が転倒することがあります。

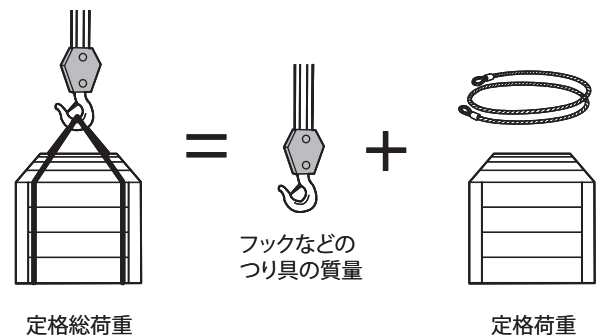
定格総荷重表の作業条件を順守して作業してください。



G05040-00J

・定格総荷重を超えるクレーン作業の禁止

定格総荷重を超える質量の荷をつると過負荷になり、機械の損傷や転倒事故の原因になります。荷をつり上げる前に、定格総荷重を確認してください。定格総荷重はブーム長さや作業半径などにより異なります。どのようなときでも、定格総荷重表に示された値を超える荷はつらないでください。

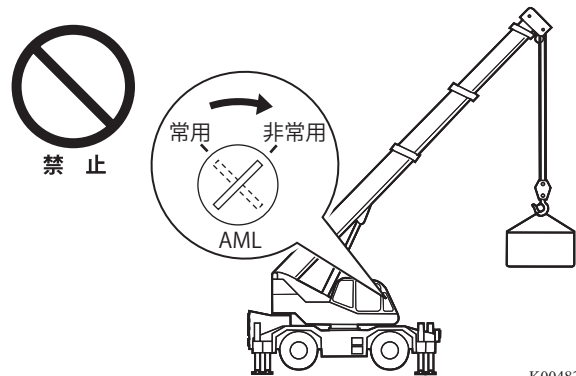


G05041-00J

・安全装置は正しく使用

過負荷防止装置などの安全装置は、取扱説明書に従って正しく使用してください。

安全装置の使い方を誤ったり働きを妨げると、機械の損傷や転倒事故の原因になります。

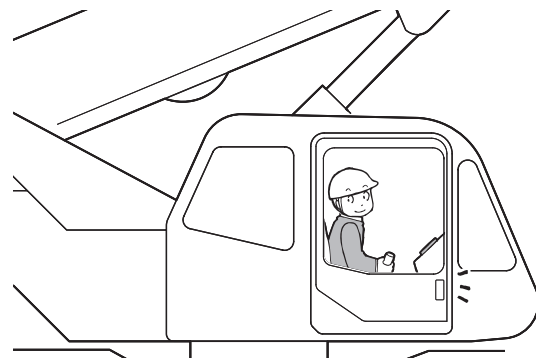


K00483-00J

・騒音対策をする

騒音による障害を防止するため運転席のドア、および窓を閉めてクレーン作業をしてください。

また、運転席外で作業をするときは、必要に応じて耳栓などの聴覚保護具を使用してください。



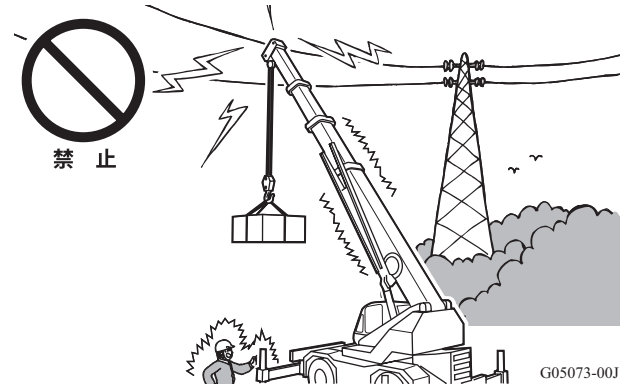
K06863-00J

・感電事故に注意

電圧によっては電線に接近しただけで感電することがあります。やむを得ず送電線や配電線の近くで作業を行うときは、次の予防措置を講じてください。

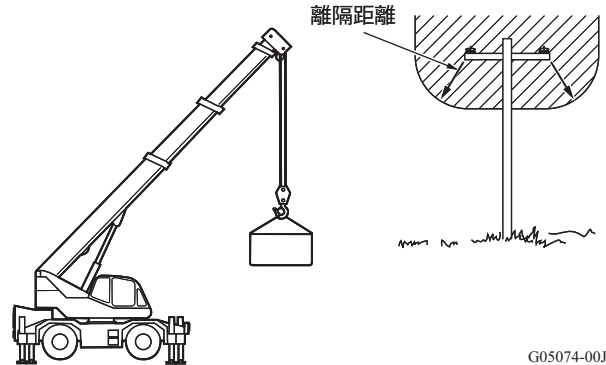
(参考：電力会社の目標値 離隔距離)

| 電圧 | | 離隔距離 |
|------|------------|------|
| 低圧 | 100V, 200V | 2m |
| 高圧 | 6,600V | |
| 特別高圧 | 22,000V | 3m |
| | 66,000V | 4m |
| | 154,000V | 5m |
| | 187,000V | 7m |
| | 275,000V | 10m |
| | 500,000V | 11m |



G05073-00J

- ・あらかじめ電力会社と打ち合わせを十分に行い、安全上必要な対策を講じてください。
- ・玉掛け者などの作業関係者には、ゴムや革材の靴を履かせてください。
- ・常に機械やつり荷を、定められた離隔距離以上に電線から離して作業してください。
- ・専任の監視員を配置して、機械やつり荷が電線に近づいたり、作業関係者以外の人立ち入らないようにしてください。
- ・地上の作業者は、機械やつり荷に触れないようにしてください。つり荷を制御する必要があるときは、乾いた繊維ロープをガイドロープとして荷に取り付け、荷の回転や荷振れを防止してください。
- ・電線の下や、電源の近くには荷を置かないでください。
- ・機械の操作は細心の注意を払い、ゆっくりと慎重に行ってください。



G05074-00J

万一感電したときは、あわてずに次の措置を講じてください。

- ・運転者は、あわてずにゆっくりと機械を運転し、機械やつり荷を安全な離隔距離以上に電線から離れた後、運転室から脱出してください。
- ・機械が損傷し、機械を動かすことができなくなった場合は、送電が停止されるまで運転席に座っているのが最も安全です。これが不可能なときは、機体からできるだけ遠くへ飛び降りてください。機体に触れたまま降りると感電して危険です。
- ・二次災害防止のため、機械周辺の関係者を退避させるとともに、帯電したままの機械やつり荷に誰も近づけないよう、十分な監視を行ってください。
- ・電力会社に連絡し、送電の停止や緊急処置などの指示を受けてください。
- ・事故後はタダノ指定サービス工場に事故があったことを連絡し、その後の処置や点検・修理についてご相談ください。

MEMO

シートの調整

⚠ 警告

- 走行中およびクレーン操作中のシート調整を禁止します。
調整中に運転を誤り、事故の原因になります。
- シートの固定が不十分だとシートが動き、事故の原因になります。シート位置を調整したあとは、シートを前後に軽く揺さぶり、確実に固定されていることを確認してください。

シートに座ったときペダルが十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる位置に調整します。

高さ調整

高さ調整レバーを引いてシートの高さを調整します。

スライド調整

スライド調整レバーを引いたまま、シートを前後に動かして調整します。

リクライニング調整

リクライニング調整レバーを引いたまま、背もたれを前後に動かして調整します。

ショルダーサポート調整

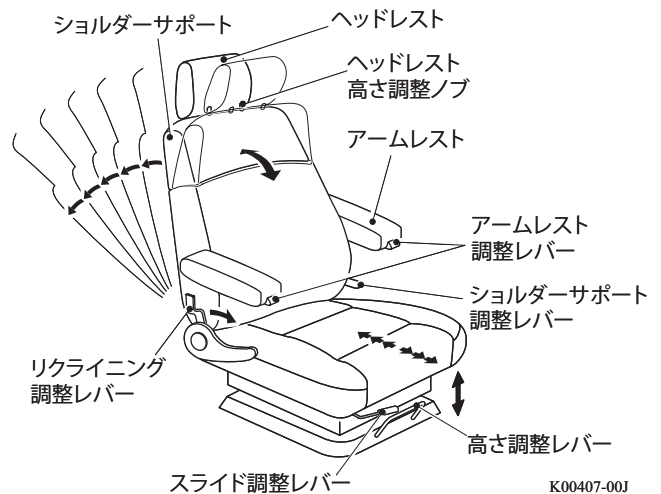
ショルダーサポート調整レバーを引いたまま、ショルダーサポートを前後に動かして調整します。

アームレスト調整

アームレスト調整レバーを引いたまま、アームレストの角度を調整します。

ヘッドレスト高さ調整

ヘッドレスト高さ調整ノブを押し込み、ヘッドレストの高さを調整します。
ヘッドレスト中央が耳の高さになるように調整します。



K00407-00J

アワーメーターに表示されるエラーコード

重要

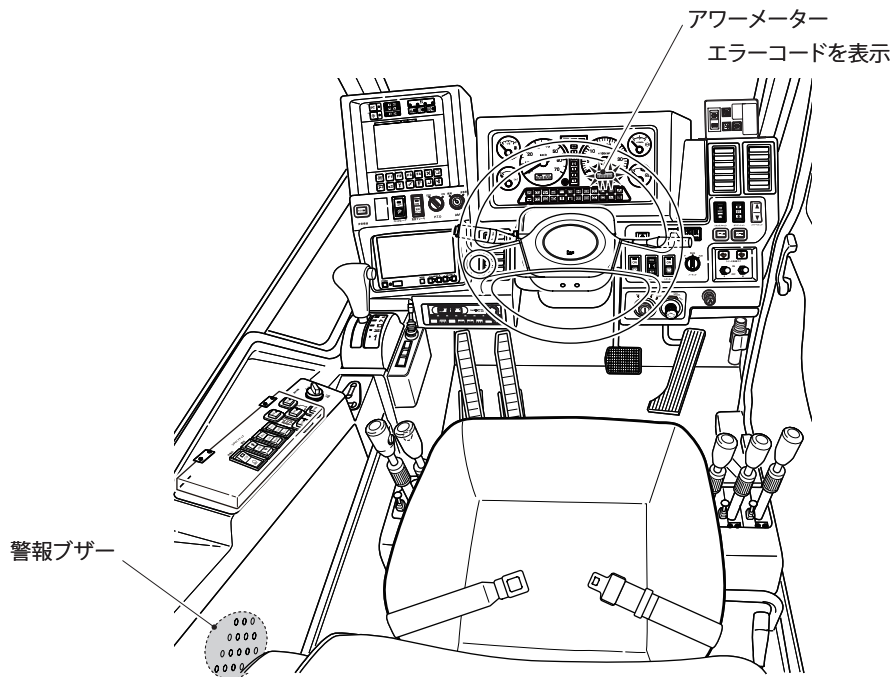
ここに記載していないエラーコードを表示したり、エラーコードに対応する状態の登録や復元操作を行ってもエラーコードが消えないとき、エンジンが始動できないときは修理が必要です。タダノ指定サービス工場に連絡してください。

走行中に故障が発生したときや不適切な操作を行ったとき、走行の安全性確保と機械の損傷を防ぐため、ブザーが鳴ってエラーコードを表示します。エラーコードの内容を確認して復元操作をしてください。

エラーコードとブザーの種類

エラーコードはアワーメーターに表示されます。

ブザーは1種類あり、警報内容によって鳴り方が変わります。



K08188-00J

シフトポジション表示灯

シフトレバー位置が「D」（自動変速）のときは、シフトポジションを示す「D」とともに、現在の変速段が点灯表示します。

| 変速段 | 1速 | 2速 | 3速 | 4速 |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 表示灯 の 点灯状態 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | <input type="checkbox"/> R | <input type="checkbox"/> R | <input type="checkbox"/> R | <input type="checkbox"/> R |
| | <input type="checkbox"/> N | <input type="checkbox"/> N | <input type="checkbox"/> N | <input type="checkbox"/> N |
| | <input checked="" type="checkbox"/> D | <input checked="" type="checkbox"/> D | <input checked="" type="checkbox"/> D | <input checked="" type="checkbox"/> D |
| | <input type="checkbox"/> 3 | <input checked="" type="checkbox"/> 3 | <input checked="" type="checkbox"/> 3 | <input checked="" type="checkbox"/> 3 |
| | <input type="checkbox"/> 2 | <input type="checkbox"/> 2 | <input checked="" type="checkbox"/> 2 | <input checked="" type="checkbox"/> 2 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 1 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 | <input checked="" type="checkbox"/> 1 |

K00356-00J

走行中のシフトレバー操作（手動操作）

警告

シフトレバー位置を「N」にしたまま、走行することを禁止します。
トランスミッションの焼付、オーバースピード等により、重大事故の恐れがあります。

重要

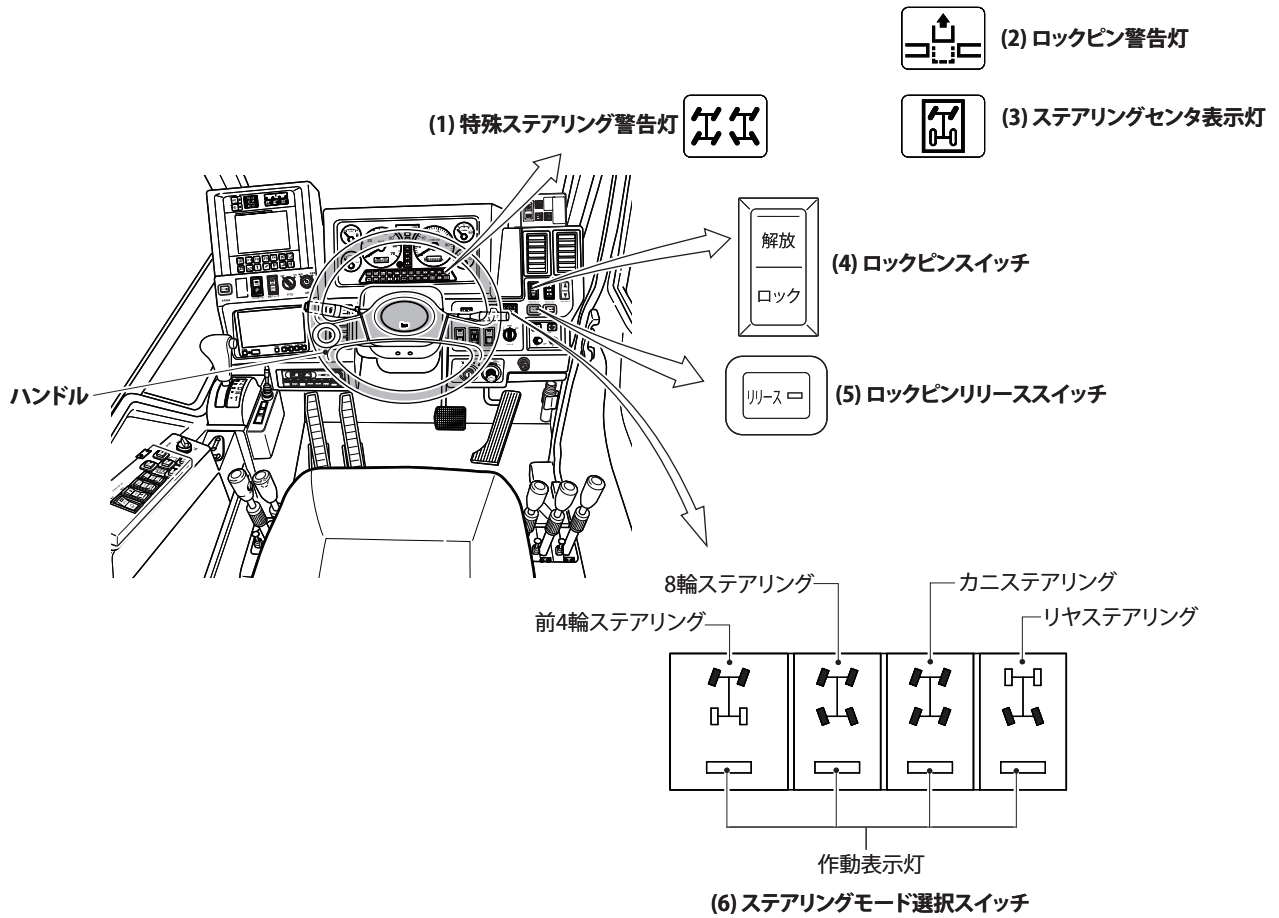
- シフトレバー位置における速度範囲を超えるとエンジンがオーバーランを起こし、破損する恐れがあります。急な下り坂などで、シフトレバー位置における速度範囲を超えそうなときは、フットブレーキを断続的に使用して減速してください。
- 車両が動いているときに前進から後進、後進から前進に入れると、トランスミッションを破損することがあります。車両が完全に停止してからシフトレバーを操作してください。

坂道を走行するときは、勾配に応じて「1」「2」「D」のシフトレバー位置を使い分けてください。
シフトアップ操作は、アクセルペダルを戻してから行ってください。
シフトダウン操作は、一段下の変速段の速度範囲に減速してから行ってください。

速度を落とさずに「2」または「1」に入れても、シフトレバー位置における速度範囲に減速するまでシフトダウンされません。

| シフトレバー位置 | 変速段 | 速度範囲 | |
|----------|----------------------|----------|----------|
| | | 4WD・H/6D | L/6D |
| 「1」 | 1速固定 | 0~14km/h | 0~7km/h |
| 「2」 | 2速固定 | 0~24km/h | 0~10km/h |
| 「D」 | 4WD・H/6D 1~2~3~4速 | 0~49km/h | 0~24km/h |
| | L/6D 4速固定 | | |
| 「R」 | 1速固定 | 0~24km/h | 0~7km/h |

(4WD、H/6D、L/6D は駆動モードを示します)



K07329-00J

(1) 特殊ステアリング警告灯

特殊ステアリングを選択すると点灯し、前4輪ステアリングを選択すると消灯します。

(2) ロックピン警告灯

リヤステアリングロックピンが抜けていると点灯し、ロックピンが入ると消灯します。

(3) ステアリングセンタ表示灯

リヤステアリングロックピンが抜けている状態で、後4輪が直進位置になると点灯します。

(4) ロックピンスイッチ

リヤステアリングロックピンをロック / 解放するスイッチです。

(5) ロックピンリリーススイッチ

リヤステアリングロックピンが抜けないうちに使用します。


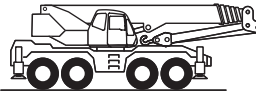
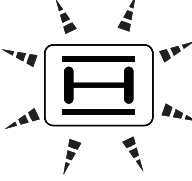
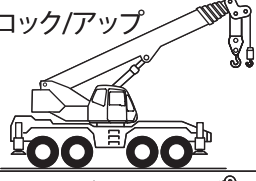
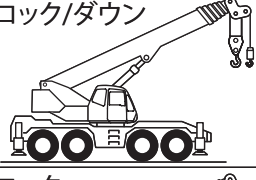
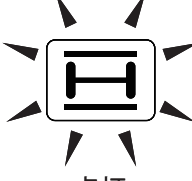
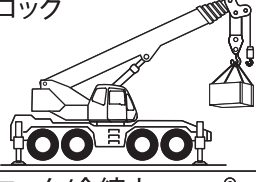

(6) ステアリングモード選択スイッチ

前4輪ステアリング、特殊ステアリングを選択するスイッチです。選択したステアリングモードの作動表示灯が点灯します。


サスペンション操作

| |
|--|
| 重要 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● サスペンションロック状態での道路走行は禁止します。道路走行するときは、サスペンションロックをフリーにしてください。 ● クレーン作業時は、サスペンションをロックしてください。サスペンションがロックされていないと車両が不安定になります。 |


道路走行では、サスペンションを働かせて、乗り心地と操縦安定性を高めます。
 クレーン作業では、サスペンションをロックして、車両の安定を保ちます。

| 用途 | サスペンションロック表示灯の状態 | サスペンションの状態 | 特長 |
|----------------|---|---|---|
| 道路走行 |  消灯 | フリー  | 道路走行で使用します。 |
| クレーン作業姿勢での構内移動 |  点滅 | ロック/アップ  | 車両高さが上がります。 縁石や段差の障害物との間隔が広がります。 |
| | | ロック/ダウン  | 車両高さが下がります。 梁や軒などの障害物との間隔が広がります。 |
| クレーン作業 |  点灯 | ロック  | クレーン作業(アウトリガ使用時)で使用します。 |
| | | ロック/全縮小  | クレーン作業(アウトリガなし時)で使用します。 アウトリガなし時はサスペンション全縮小時のみクレーン作業が可能です。 |


K07332-01J



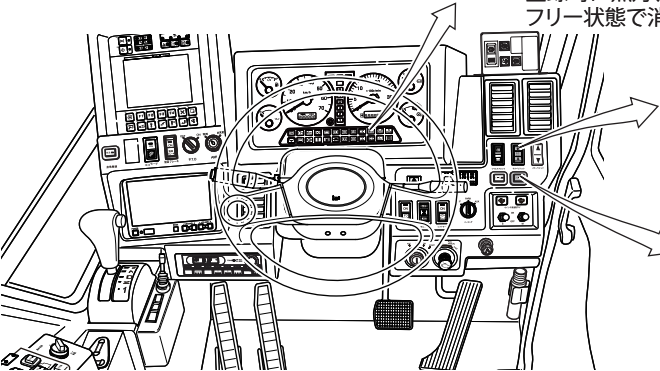
サスペンションロック表示灯
 サスペンションが全縮小状態のとき、またはアウトリガ状態登録時に点灯、それ以外の状態では点滅します。
 フリー状態で消灯します。



サスペンションアップ/ダウンスイッチ
 車両高さを調整するスイッチです。



サスペンションフリースイッチ
 サスペンションロックを解除するスイッチです。





K07333-00J



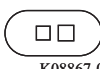

温度設定スイッチ

室温を調整します。

設定温度は温度設定ランプで表示されます。


| スイッチ | 働き |
|---|-----------|
|  COOL K12377-000 | 吹出温度を下げます |
|  WARM K12378-000 | 吹出温度を上げます |

風量調節スイッチ

| スイッチ | 働き |
|---|--------------------|
|  LO K08865-000 | ブロワファンを LO に切り替えます |
|  □ K08866-000 | ブロワファンを M1 に切り替えます |
|  □□ K08867-000 | ブロワファンを M2 に切り替えます |
|  HI K08868-000 | ブロワファンを Hi に切り替えます |

OFF スイッチ

エアコンを停止させるスイッチです。

| スイッチ | 働き |
|--|------------|
|  OFF K08869-000 | エアコンを停止します |

モニター切替スイッチ

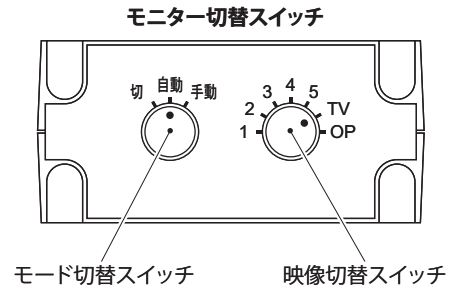
モード切替スイッチ

モニター電源の ON/OFF、およびモードを切り替えるスイッチです。

「切」 …………… 電源 OFF

「自動」 …………… 電源 ON、クレーンの使用状況に応じた映像を表示

「手動」 …………… 電源 ON、映像切替スイッチで選択した映像を表示



K10643-00J

映像切替スイッチ

モード切替スイッチが「手動」のとき、映像を切り替えるスイッチです。

「1」 …………… 後方カメラからの映像（オプション）

「2」 …………… ウインチドラム監視カメラからの映像（オプション）

「3」 …………… 未使用

「4」 …………… ブーム側方カメラからの映像（2画面合成モード）

「5」 …………… ブーム側方カメラからの映像（2画面合成モード）

「TV」 …………… 未使用

「OP」 …………… 未使用

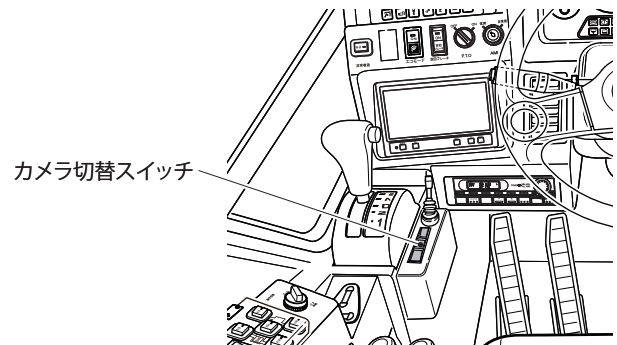
カメラ切替スイッチ

道路走行時、モニターに映るブーム側方カメラの映像を切り替えるスイッチです。

「R」 …………… ブーム右側方

「L+R」 …………… ブーム左側方 + ブーム右側方

「L」 …………… ブーム左側方



K07337-01J

クレーン作業の前に

作業開始前点検

警告

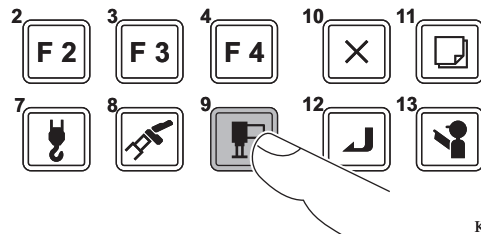
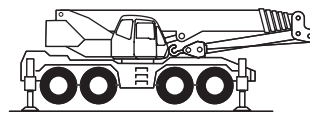
作業開始前点検をしないと、故障の発見が遅れ、事故の原因になります。作業開始前に機械を点検し、異常のないことを確認してください。

「運行前点検」(354 ページ) と「作業開始前点検」(373 ページ) を参照し、点検してください。

クレーン作業の準備

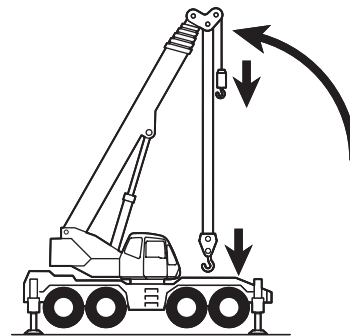
機械を走行姿勢からクレーン作業姿勢にします。

1. アウトリガを設置して AML にアウトリガ状態を登録します。
アウトリガの設置と登録は、「アウトリガ操作」(190 ページ) と「AML (過負荷防止装置)」(139 ページ) を参照してください。



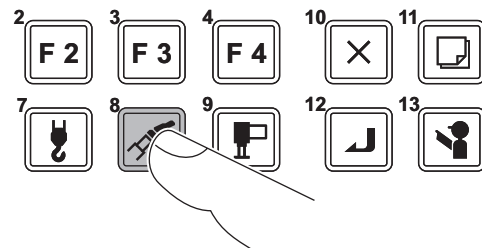
K00985-000

2. 主巻フックおよび補巻フックを格納位置から外します。
フックの取り出しは、「フックの取り出しと格納」(236 ページ) を参照してください。

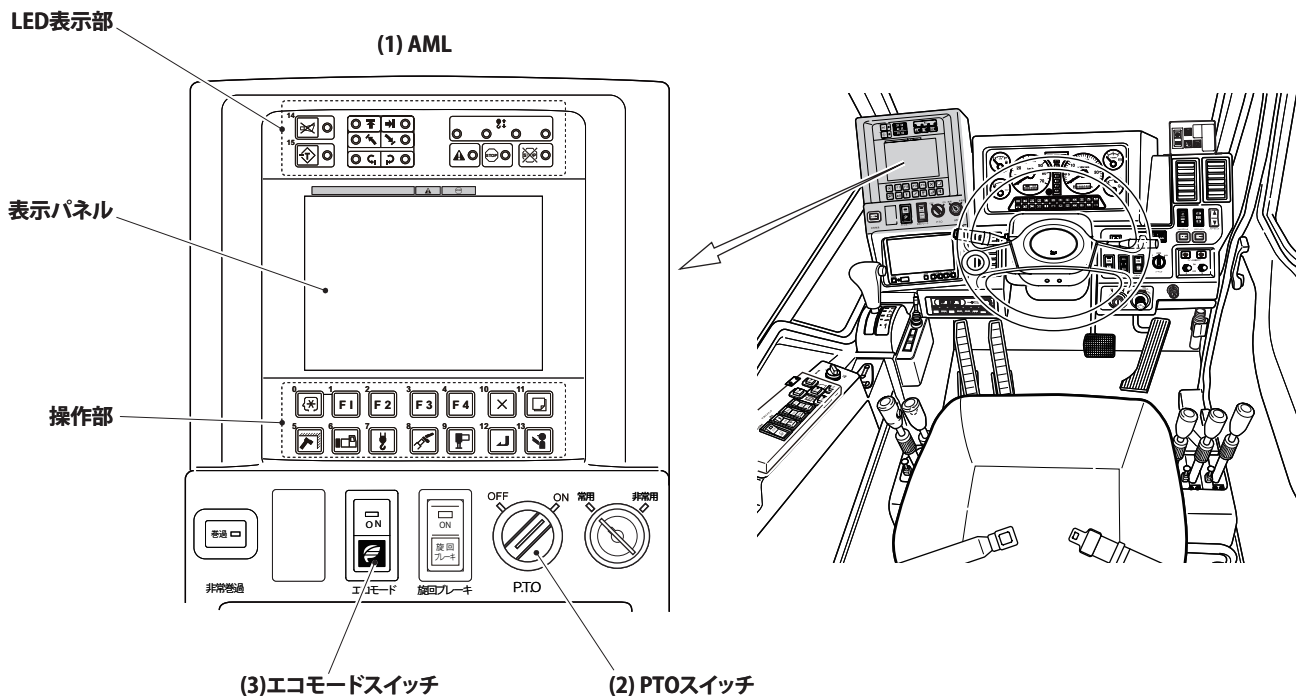


K00986-000

3. AML にブーム状態を登録します。
ブーム状態の登録は、「AML (過負荷防止装置)」(139 ページ) を参照してください。



K00529-000



K07341-00J

(1) AML

AML は LED 表示部・表示パネル・操作部で構成しています。

LED 表示部は、各作業範囲の制限状態、ウインチドラムの回転状態、および AML の制御状態を表示します。

表示パネルは、モーメント負荷率、クレーンの状態、アウトリガの状態、旋回位置、燃料消費状態、およびエラーコードを表示します。

(2) PTO スイッチ

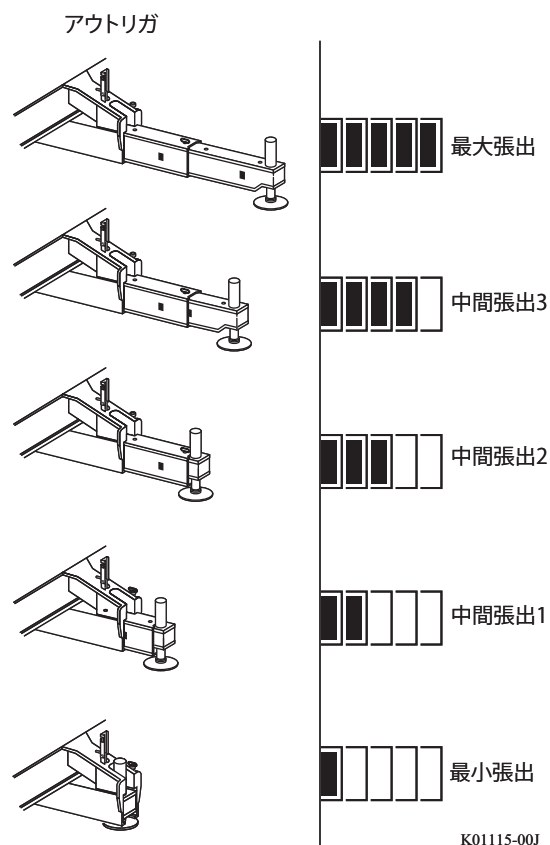
スイッチを「ON」にすると AML の電源が入ります。

(3) エコモードスイッチ

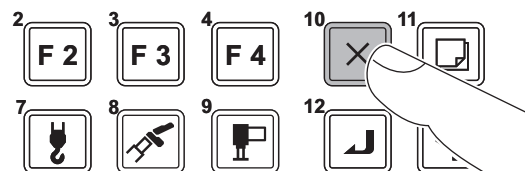
スイッチを「ON」にするとエンジン最高回転数を制限して、燃料消費と騒音を低減します。

4. 実際のアウトリガ状態と合っているか確認します。

- アウトリガ状態シンボルの表示の意味は右のようになります。



登録を中断するときは、キャンセルキーを押してください。サブウィンドウを閉じて、登録前のクレーン作業状態に戻ります。



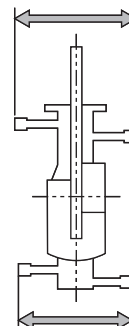
| 〔エラーコード〕 〔メッセージ〕 | ブザー | クレーンの状態 | 操作上の注意 |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
| [W0016] 「セノウガアリマセン 1」 | AML 内蔵ブザー： ピーピーピー (短い周期で 3 秒間) | ・クレーンの作業状態が AML に登録している作 業状態以外になったとき ・性能がない作業状態を AML に登録したとき | ・作業状態を再登録して ください。 ・アウトリガなし作業の ときは、ブームを性能 範囲内に縮小してくだ さい。 |
| [W0017] 「セノウガアリマセン 2」 | | | |
| [W0019] 「ゼンシュク 2 イジョウ」 | | ブーム全縮検出スイッチ の状態と実際のブーム長 さが矛盾しているとき | タダノ指定サービス工場 で点検・整備を受けてく ださい。 |
| [W0022] 「ジブゼンシュク 1 イジョウ」 | | ジブ全縮検出スイッチの 状態と実際のジブ長さが 矛盾しているとき | |
| [W0044] 「ジブカクノウジョウタイ」 | | ジブを格納した状態で ジブチルト操作をしたと き | 伸縮/ジブチルトレバー を中立に戻してください。 |
| [W0056] 「センカイ ソウサ ハ キケン」 | | アウトリガなし作業時、 前方領域から側方領域へ 旋回可能なブーム上限角 度を超えているとき | ブーム角度を 60° 以下に して旋回してください。 |
| [W0214] 「テンションロッドカンショウテイシ」 | | テンションロッドの干渉 領域でブーム上げまたは ジブ下げ操作をしたとき | ブーム下げまたはジブ上 げ操作をしてください。 |
| [W0286] 「ソウサニューリョク チュウリツ イジョウ」 | 電源投入時に操作レバー が中立になっていないと き | すべての操作レバーを中 立にしてください。AML 内蔵ブザーが鳴り止まな いときは、タダノ指定サ ービス工場点検・整備 を受けてください。 | |
| [W0999] 「バックアップデンチテイカ」 | 電源投入時に、AML 内蔵 時計の電池が低下してい るとき | タダノ指定サービス工場 に連絡して、電池を交換 してください。 | |
| [W0191] 「AML ヒジョウ SW イジョウ」 | AML 内蔵ブザー： ピーピーピー (短い周期で 5 秒間) | 非常操作スイッチを「非 常用」にしている、また はスイッチが故障してい る状態で、作業状態に登 録したとき | 非常操作スイッチを「常 用」に戻す、またはタダ ノ指定サービス工場点 検・整備を受けてくださ い。 |
| [W0106] 「キフク ゲンソクチュウ」 | AML 内蔵ブザー： ピーピーピー (長い周期で 3 秒間) | 起伏の緩停止機能が作動 し、起伏操作が減速して いるとき | 停止位置に近づいていま す。 注意して操作してくださ い。 |
| [W0107] 「シンシュク ゲンソクチュウ」 | | 伸縮の緩停止機能が作動 し、伸縮操作が減速して いるとき | |
| [W0108] 「センカイ ゲンソクチュウ」 | | 旋回の停止機能が作動し、 旋回操作が減速している とき | |

(5) 前方特別性能の選択

前方領域の範囲で、安定性能を向上させる機能です。

1. アウトリガ張出幅が、次の状態にあることを確認します。
 - フロントアウトリガ：最大張出（7.6m）
 - リヤアウトリガ：アウトリガ状態シンボル表示が「中間張出 2」以上（5.28m 以上）

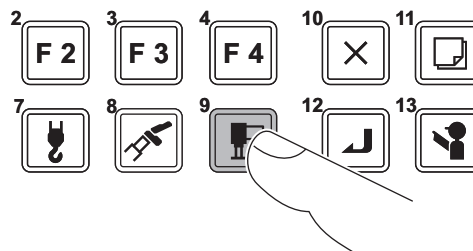
フロントアウトリガ：最大張出(7.6 m)



リヤアウトリガ：中間張出2(5.28 m)以上

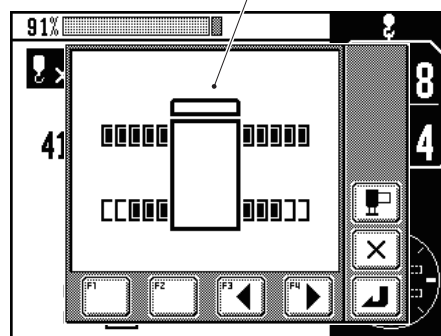
K01119-01J

2. アウトリガ状態選択キーを押します。
 - 表示パネルにアウトリガ状態登録用のサブウインドウを表示します。



K00675-000

アウトリガ状態登録用のサブウインドウを表示

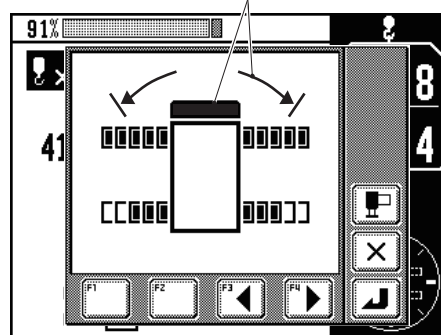


K01121-00J

3. アウトリガ状態選択キーを押して、前方特別性能状態の表示に切り替えます。

☞ アウトリガ状態選択キーの代わりに F3 (戻り) キーまたは F4 (送り) キーを押しても、表示が切り替わります。

前方特別性能状態を表示



K01122-00J

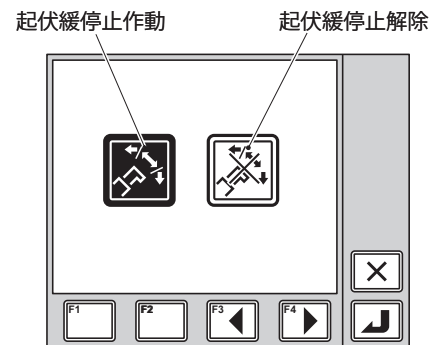
起伏緩停止 / 解除の選択

重要

起伏緩停止機能を解除していると、自動停止時に荷振れが発生して、機械を損傷する恐れがあります。ブーム起伏操作はゆっくり操作してください。

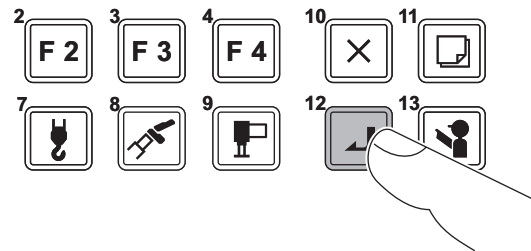
起伏緩停止はブーム起伏動作停止時、ブーム起伏速度を減速させることで荷振れを緩和する機能です。緩停止作動 / 緩停止解除を選択します。

- 起伏緩停止 / 解除メニューを選択し、セットキーを押します。
 - 表示パネルに起伏緩停止 / 解除選択用のサブウィンドウを表示します。



K00709-00J

- F3 (戻り) キーまたは F4 (送り) キーを押して、緩停止作動 / 解除のアイコンを選択します。
 - 選択しているアイコンを反転表示します。



K00678-000

- セットキーを押します。
 - 登録が完了すると、サブウィンドウが閉じてクレーン作業状態に戻ります。
 - 起伏緩停止解除を登録すると、起伏緩停止解除アイコンが表示されます。

☞ 選択を中断するときは、キャンセルキーを押してください。サブウィンドウを閉じて、登録を変更せずにクレーン作業状態に戻ります。

☞ AML の電源が切れても、それまでに登録していた内容は記憶されます。AML の電源が入ると、登録内容からスタートします。

☞ ジブ作業時、およびジブセット状態時に起伏上限ストロークエンドまでブーム上げ操作したときは、起伏緩停止機能を解除していても緩停止します。

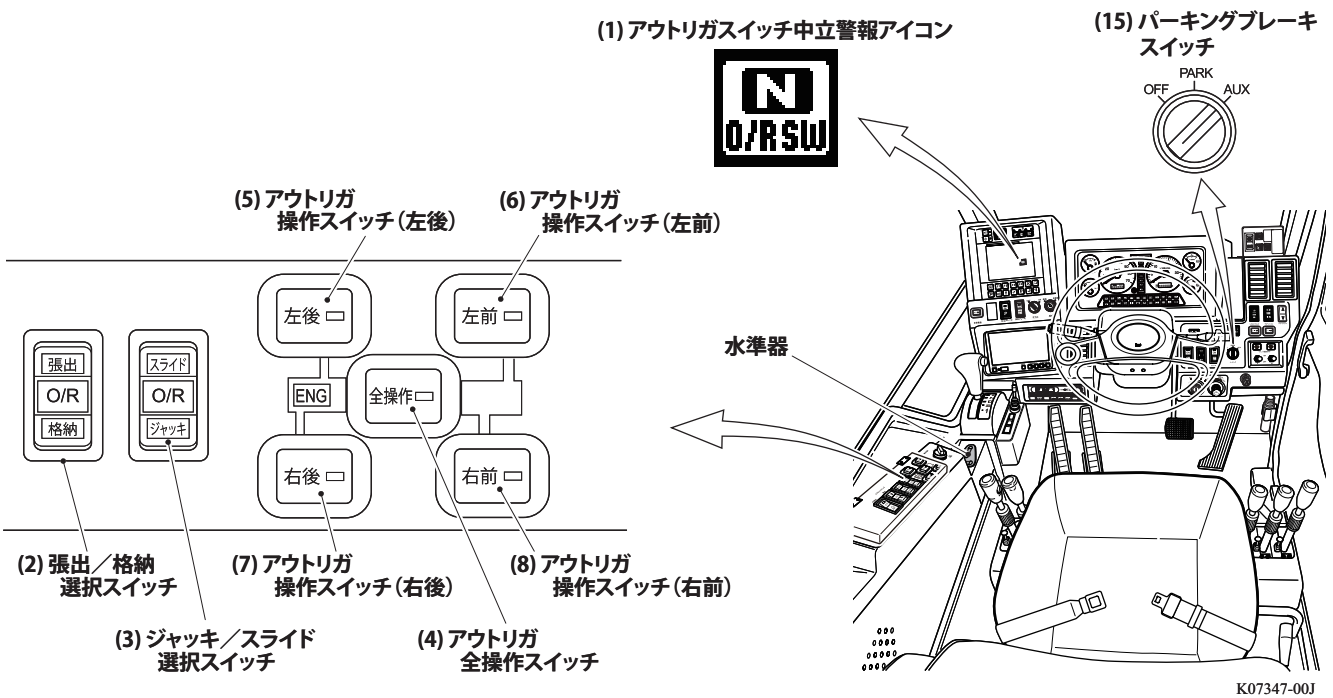
アウトリガ操作

重要

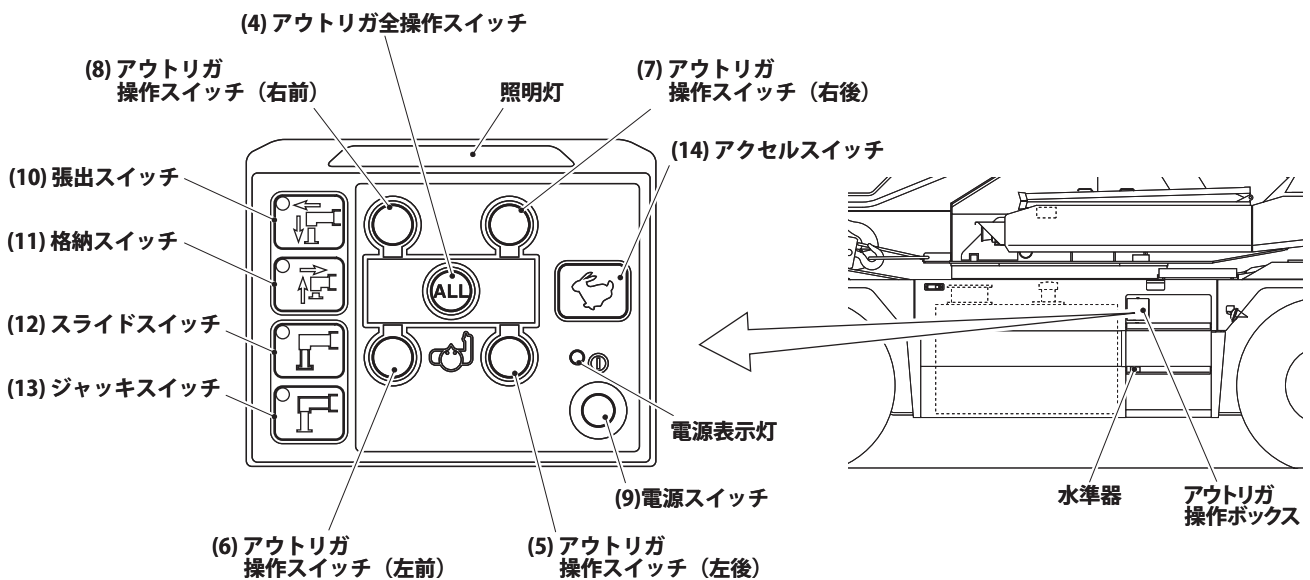
- アウトリガ操作を行う前に、サスペンションロックを行ってください。
- パーキングブレーキスイッチを「AUX」にしてください。「AUX」にしないとアウトリガ操作ができません。

アウトリガ操作装置は、運転室内と車両左側にあります。主に、アウトリガ操作は車両左側のアウトリガ操作ボックスで行います。運転室内で操作するときは、ロックピンの取り付け、取り外しや敷板を敷くための作業者がが必要です。

運転室内

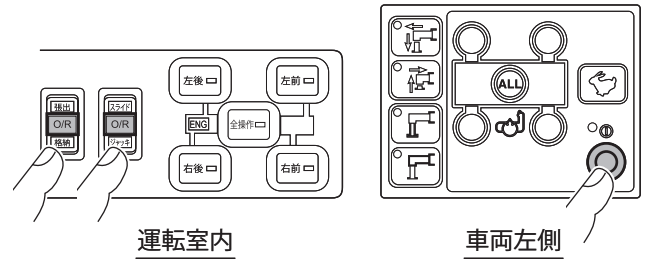


車両左側 (アウトリガ操作ボックス)



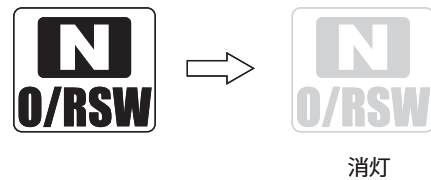
10. ジャッキ／スライド選択スイッチと張出／格納選択スイッチを中立位置に戻します。
アウトリガ操作ボックスを使用していた場合は、電源スイッチを「OFF」にします。

- 電源表示灯と照明灯が消灯します。



K06591-00J

- AML のアウトリガスイッチ中立警報アイコンが消えます。

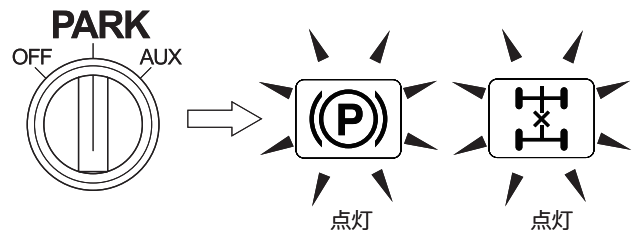


消灯

K00538-00J

11. パーキングブレーキスイッチを「PARK」に戻します。

| ▲ 注意 |
|--|
| アウトリガ張出後、パーキングブレーキスイッチを「PARK」に戻してください。長時間「AUX」を使用すると、ブレーキが戻りにくくなって走行初期時の引きずりの原因となり、事故の恐れがあります。 |



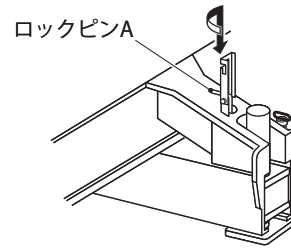
K01139-00J

- ☞ パーキングブレーキスイッチが「AUX」の位置のまま 1 時間経過すると、作業用補助制動装置解除忘れの警報ブザーが鳴り、アワーメーター表示部にエラーコード「F303」が表示されます。

10. ロックピン A を 4 本ともピン穴に入れて、アウトリガビームをロックします。

警告

ロックピンが入っていない状態で走行しないでください。走行中にアウトリガビームが伸長して通行人または通行車両に衝突する恐れがあります。アウトリガ格納後は、確実にロックピンを入れてください。



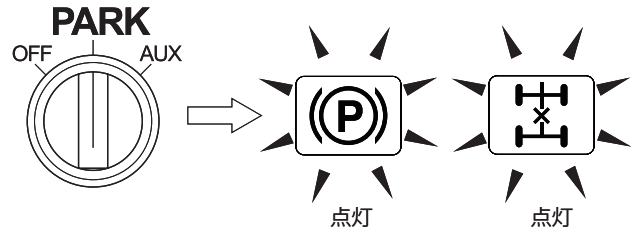
K01148-00J

☞ アウトリガ操作をしていないにも関わらず、アウトリガビームが伸縮した場合、アウトリガ誤伸縮警報のブザーが鳴り、アワーメーター表示部にエラーコード「F213」～「F220」が表示されます。

11. パーキングブレーキスイッチを「PARK」に戻します。

注意

アウトリガ格納後、パーキングブレーキスイッチを「PARK」に戻してください。長時間「AUX」を使用すると、ブレーキが戻りにくくなって走行初期時の引きずりの原因となり、事故の恐れがあります。

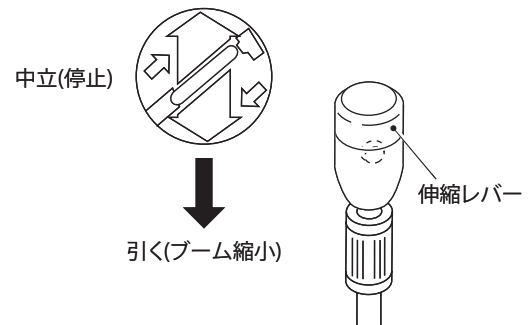


K01139-00J

☞ パーキングブレーキスイッチが「AUX」の位置のまま 1 時間経過すると、作業用補助制動装置解除忘れの警報ブザーが鳴り、アワーメーター表示部にエラーコード「F303」が表示されます。

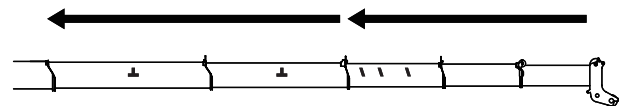
ブーム縮小操作

1. 伸縮レバーを手前に引きます。



G40006-03J

2. 必要な長さまでブームが縮小したら、レバーを中立位置に戻します。
 - 4 段目・5 段目とトップブームが伸長しているときは、先に 4 段目・5 段目ブームとトップブームが同時に縮小します。続いて 2 段目・3 段目ブームが縮小します。

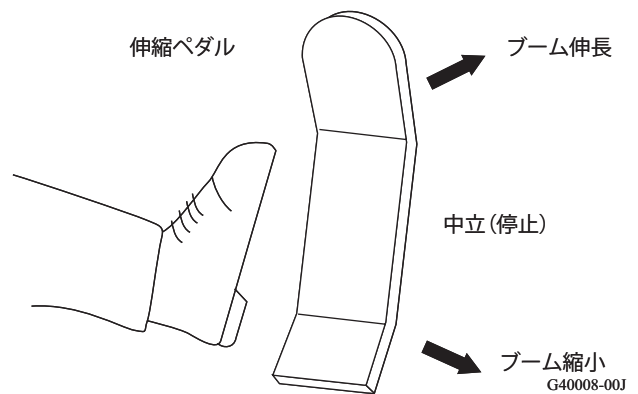


- ☞ 2 段目・3 段目ブーム全縮時と 4 段目・5 段目・トップブーム全縮時には緩停止します。

K01015-000

伸縮ペダル

ブームの伸長、縮小操作を行うペダルです。



G40008-00J

ブーム作業状態 (つり荷なし)

| ブーム前方 | | ブーム前方以外 | |
|---|-----------|---|-----------|
| <p style="text-align: center;">K15124-00J</p> | | <p style="text-align: center;">K15125-00J</p> | |
| ブーム長さ | 許容ブーム角度 | ブーム長さ | 許容ブーム角度 |
| 9.8m | 0° ~ 73° | 9.8m | 20° ~ 60° |
| 16.6m | 35° ~ 73° | 16.6m | 60° ~ 73° |

ジブ作業状態 (つり荷なし)

| ブーム前方 | | ブーム前方以外 | |
|---|----------|---|-----------|
| <p style="text-align: center;">K15126-00J</p> | | <p style="text-align: center;">K15127-00J</p> | |
| ブーム長さ | 許容ブーム角度 | ブーム長さ | 許容ブーム角度 |
| 9.8m | 0° ~ 73° | 9.8m | 60° ~ 73° |
| ジブ長さ | 許容ジブ角度 | ジブ長さ | 許容ジブ角度 |
| 8.4m | 5° ~ 60° | 8.4m | 5° |

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below

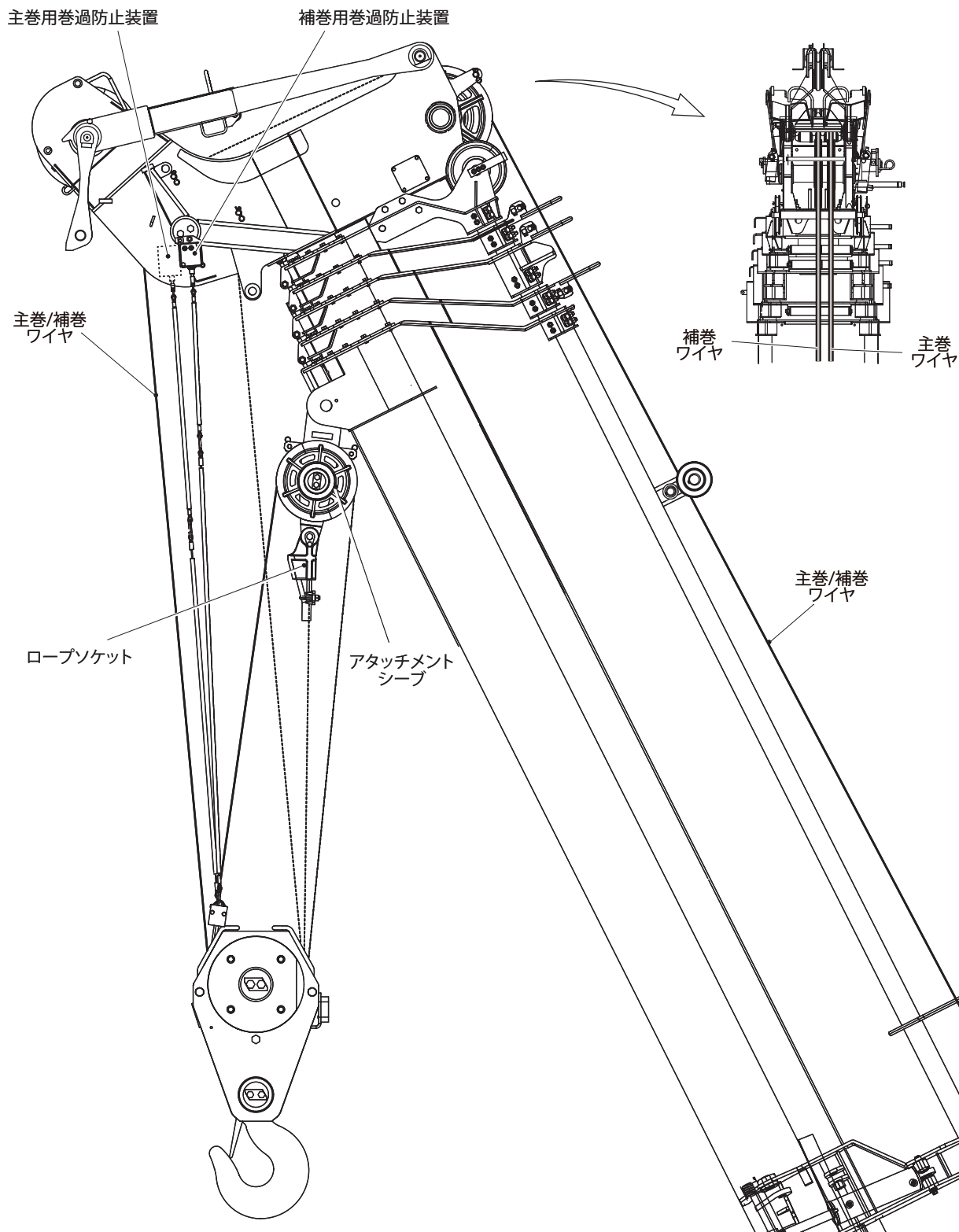


- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

ブーム（重荷重装置使用時）

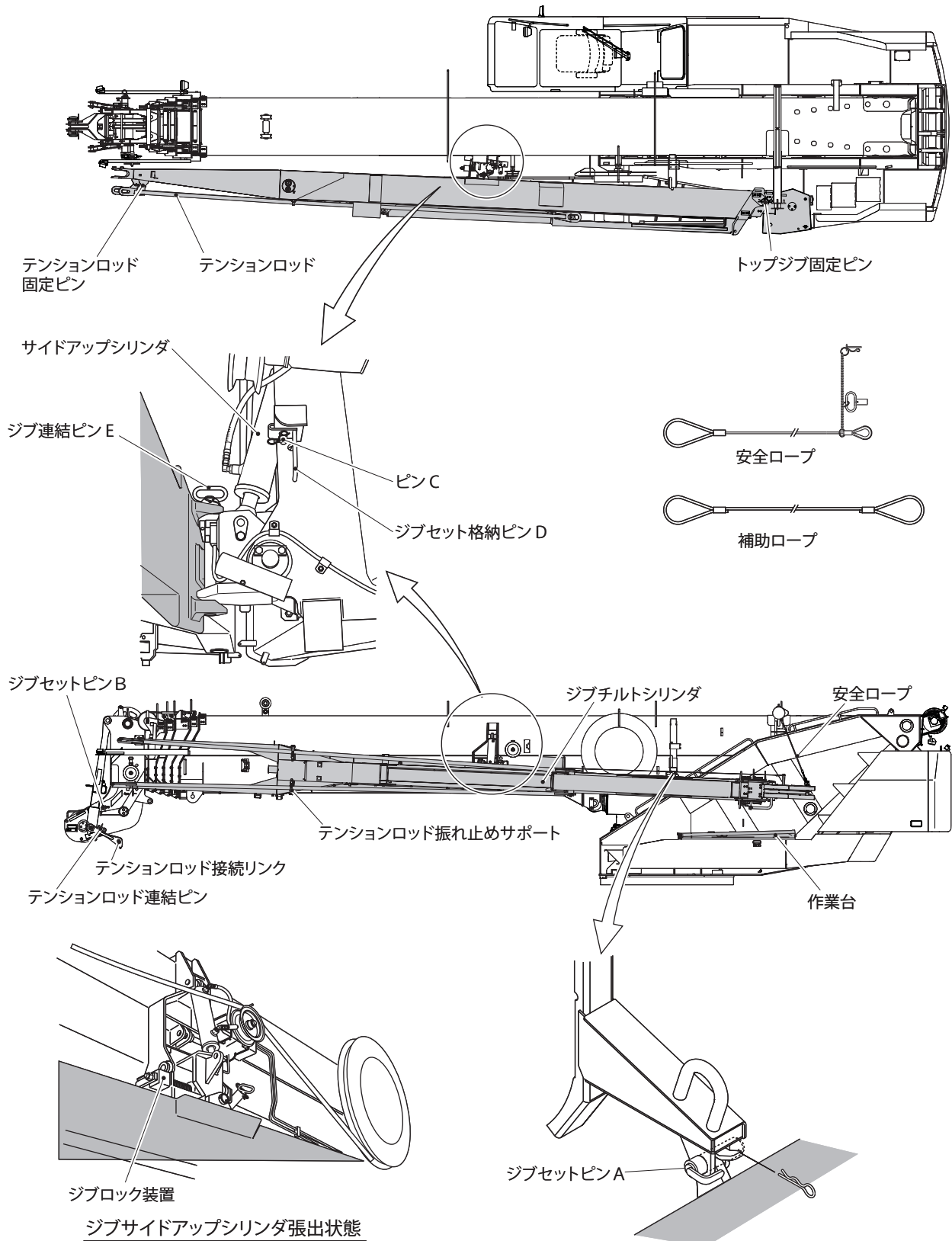
| | |
|----------|----------|
| ブーム長さ | 9.8m |
| 標準巻掛本数 | 8本掛け×2 |
| 使用フック | 35tフック×2 |
| フック質量 | 340kg×2 |
| ロープの許容荷重 | 4.38t×2 |



K08016-01J

フルオートジブ

ジブはブーム先端に装着して、ブーム作業では届かない高所での作業などに使用します。走行時やジブを使用しない作業では、ブーム側面に格納します。

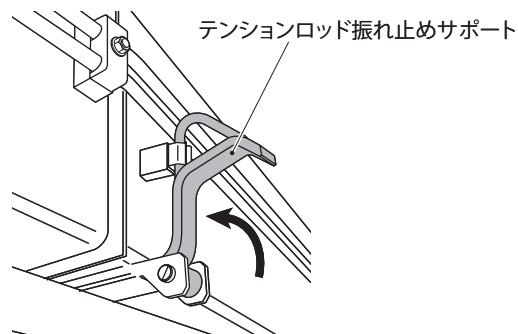


K07358-01J

- 13.** 伸縮レバーを押して、ジブチルトシリンダを全縮小します。

☞ テンションロッド固定ピンを抜きやすくするために行います。

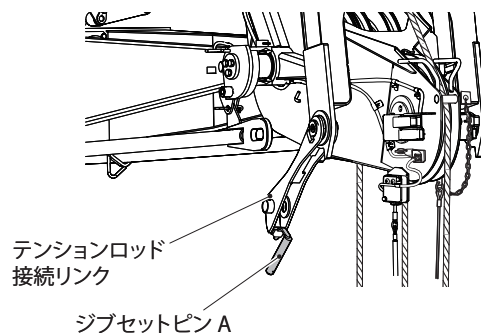
- 14.** 左右のテンションロッド振れ止めサポートを解除します。



K00422-00J

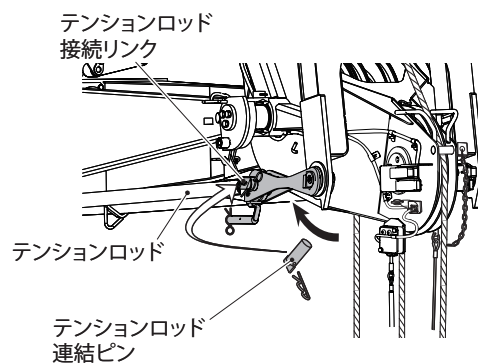
- 15.** ブーム右側のテンションロッド接続リンクにジブセットピン A を差し込みます。

☞ テンションロッド接続時、ジブセットピン A を取っ手として使用します。



K08021-01J

- 16.** テンションロッド連結ピンを抜き、リンクとテンションロッドを接続してスナップピンで固定します。



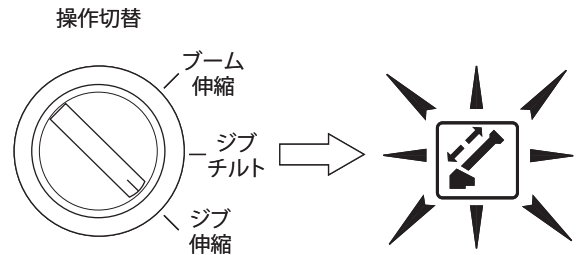
K08022-01J

ジブ長さの変更

重要

ジブ作動は、ブーム作動と比べてやや応答が遅くなります。特に、荷物をつり上げた状態でのジブ伸縮操作は、応答遅れを考慮して微動操作で行ってください。

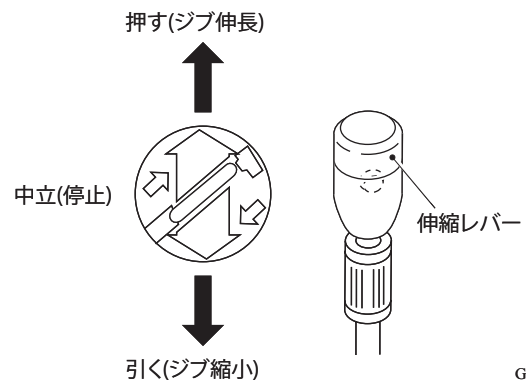
1. 伸縮レバー操作切替スイッチを「ジブ伸縮」にします。
 - AML にジブ伸縮操作アイコンが表示されます。



K01040-00J

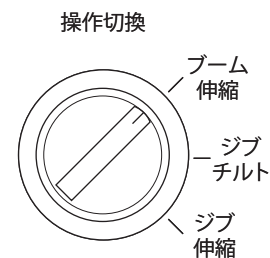
2. 伸縮レバーをゆっくりと操作して、ジブ伸長・ジブ縮小を行います。
 - ジブ伸長…………… レバーを前方に押す
 - 停止…………… レバーを中立位置に戻す
 - ジブ縮小…………… レバーを手前に引く

☞ジブ長さが変わっても、AML の登録を変更する必要はありません。



G47078-06J

3. ジブ作業終了後、伸縮レバー操作切替スイッチを「ブーム伸縮」にします。



G47079-06J

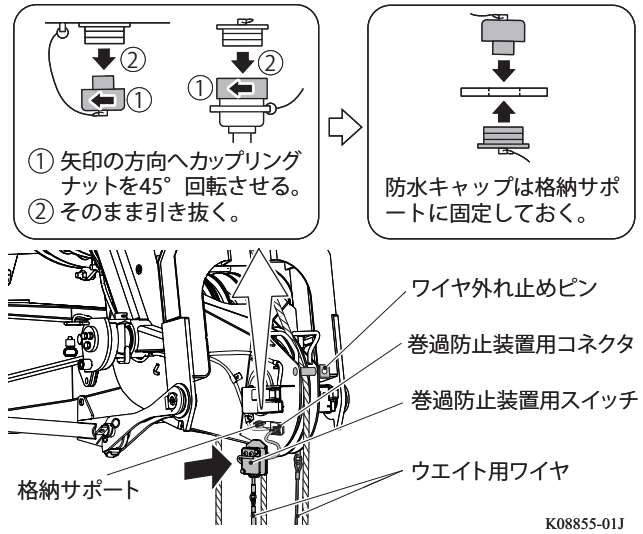
20. シングルトップに巻過防止装置用スイッチを取り付けます。

巻過防止装置用スイッチの配線をシングルトップのコネクタに接続します。外したお互いの防水キャップは格納サポートに両側から挿し込んで固定します。

ウエイト用ワイヤとウエイトを接続します。ワイヤ外れ止めピンを取り付け、スナップピンで固定します。

重要

配線を抜くときはコネクタ自体をつかみ、コードを引っ張って抜かないでください。断線の原因になります。



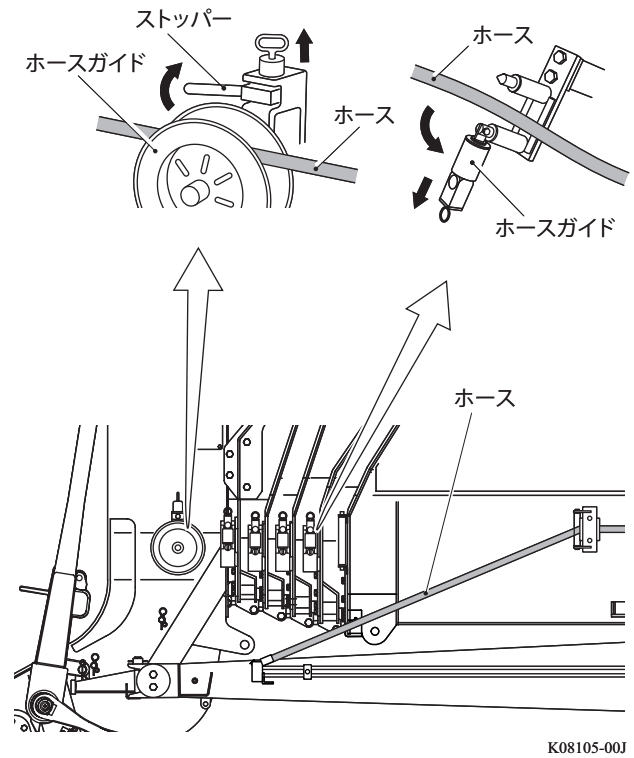
21. ジブチルト / 伸縮シリンダ用ホースをホースガイドから外し、ホースリールに巻き取ります。

警告

ジブチルト / 伸縮シリンダ用ホースが、確実にホースガイドから外れていることを確認してください。ジブチルト / 伸縮シリンダ用ホースを外さずにブームを伸長すると、ホースおよびホースガイドを損傷し、重大な事故を起こします。

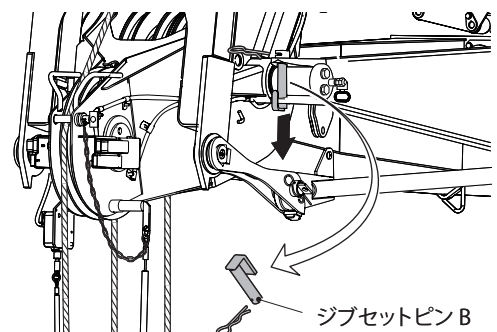
注意

ジブチルト / 伸縮シリンダ用ホースには強い張力が掛かっています。ホースを外すときにホースガイド、ストッパに指を挟むと、けがの恐れがあります。



22. ブーム左側のジブセットピン B を抜きます。テンションロッド接続リンクにジブセットピン B を差し込みます。

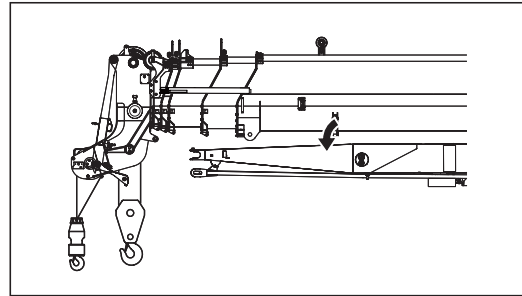
☞テンションロッド格納時、ジブセットピン B を取っ手として使用します。



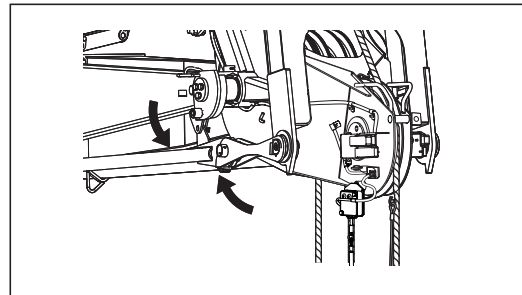
ジブの装着の概要

ジブの装着の概要は、次のような手順になっています。

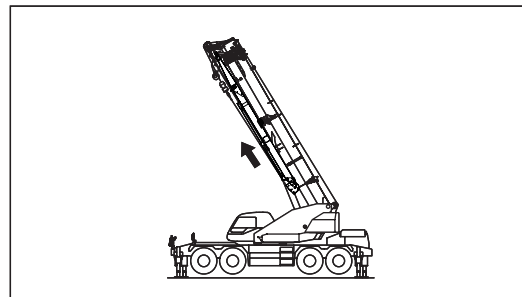
1. ジブを格納状態からブーム下面へ移動する。
(手順 1. ～ 12.)



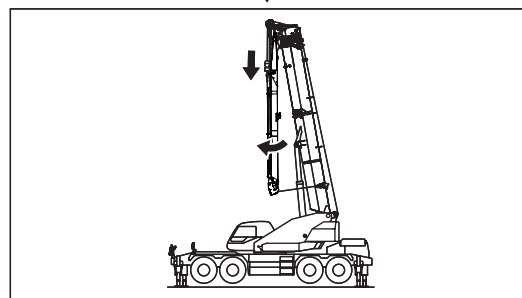
2. ブーム先端のリンクとテンションロッドを接続し、ジブセットピンを差し込む。
(手順13. ～ 23.)



3. 補助ロープを取り付け、ジブをブームから振り出す準備をする。
(手順24. ～ 30.)



4. ジブをブームから振り出す。
(手順31. ～ 34.)

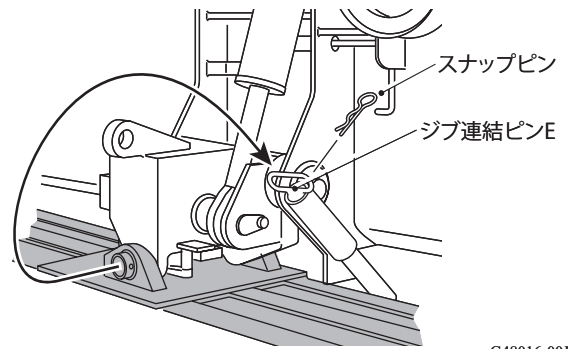


K08040-01J

24. ジブ連結ピン E を抜いて格納場所に格納し、スナップピンで固定します。

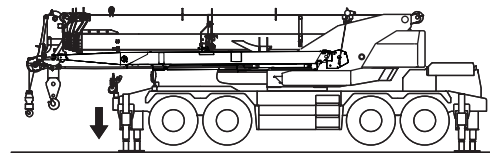
警告

この状態でのブーム伸長操作を禁止します。
ジブが落下して、重大な事故を起こします。



G48016-00J

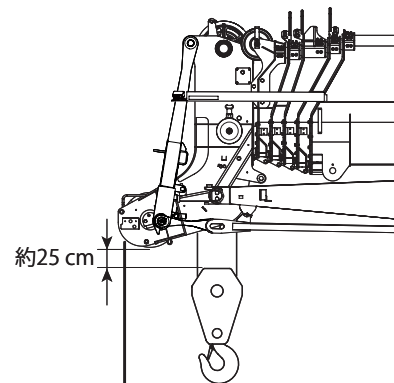
25. ジャッキを伸長して、クレーンを水平にします。



K08096-000

26. 主巻フックとブーム先端のすき間が約 25 cm になるまで、主巻ワイヤロープを巻き上げます。

☑ 主巻フックがジブの中をくぐり抜けやすくするために、行います。



K08029-00J

27. ブーム角度が $60^\circ \sim 65^\circ$ になるまでブームを上げます。

4. ブームを全縮小します。

重要

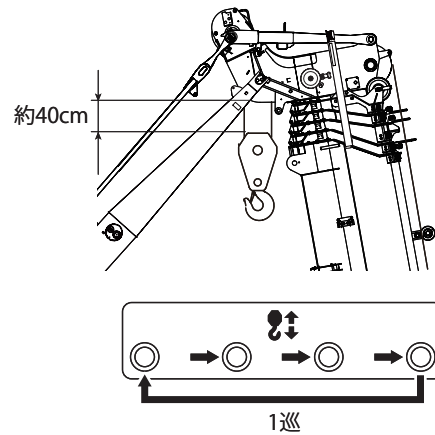
フックの位置を確認しながら操作してください。
巻過状態になったり、フックが揺れて接触する
恐れがあります。

☞ ブーム長さ 16.6m 以上では巻過防止機能が作動します。

5. 主巻フックとブーム先端のすき間が約 40 cm になるまで、主巻ワイヤロープを巻き上げます。

☞ 主巻フックがジブの中をくぐり抜けやすくするために行います。

☞ AML にブーム状態を登録し、主巻フックを巻過停止位置からさらにドラムインジケータランプの点滅が 10 巡 (1 巡 = 4 回) するまで巻き上げた位置が目安です。本操作後は AML にジブセット状態を登録してください。



K08031-00J

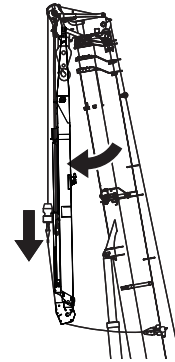
ジブロックアイコンが表示されないとき

ジブ格納手順 14. でジブロックアイコンが表示されなかったときは、次の手順でジブをロックしてください。

1. 補助ロープが少し緩む程度に補巻ワイヤロープを巻き下げます。
2. ブームをゆっくりと伸長します。ジブロック装置（自動ピン）が外れ、ジブが前方に振られたら、boom伸長操作を止めます。


重要

boomを伸ばし過ぎないでください。補助ロープが張り過ぎて切れる恐れがあります。

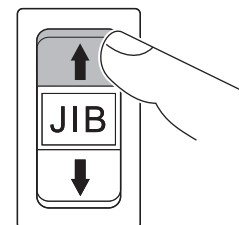


K08106-000

3. ジブが地面と垂直になるまで、補巻ワイヤロープを巻き下げます。
4. boomを全縮小します。
5. ジブサイドアップ振出 / 格納スイッチの「振出」を押して、サイドアップシリンダを全伸長します。

 ジブロック装置（自動ピン）が確実に働くようにするために行います。

ジブサイドアップ
振出

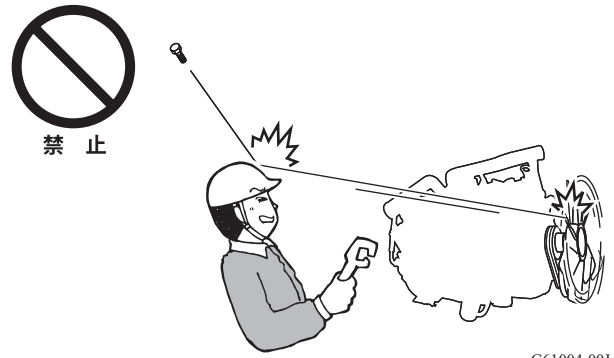


格納

G48064-00J

・点検・整備はエンジンを停止して行う

エンジン回転中に回転部分に触れたり近づいたりすると、手や衣服などが巻き込まれ、思わぬけがをする恐れがあります。エンジンを停止してから機械を点検してください。



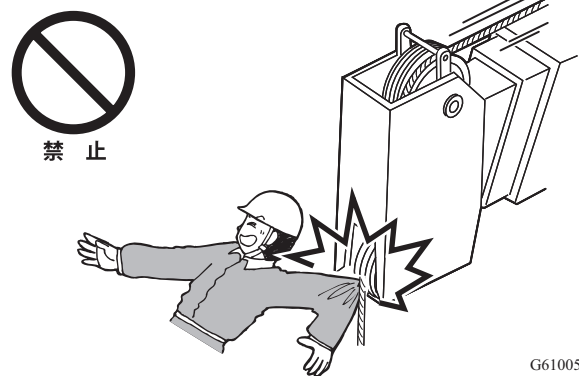
G61004-001

・動く部分には近寄らない

誤って機械を動かされたり、動いている部分に触れると、機械に挟まれたり、巻き込まれたりして非常に危険です。

やむを得ず機械を動かして点検・整備を行うときは、ブーム・起伏シリンダ・ウインチ・ファン・ファンベルト・プロペラシャフトなどの可動部には近寄らないでください。また、誰も近づけないでください。

可動部の近くで作業しなければならないときは、手や衣服が可動部に触れないよう細心の注意を払ってください。

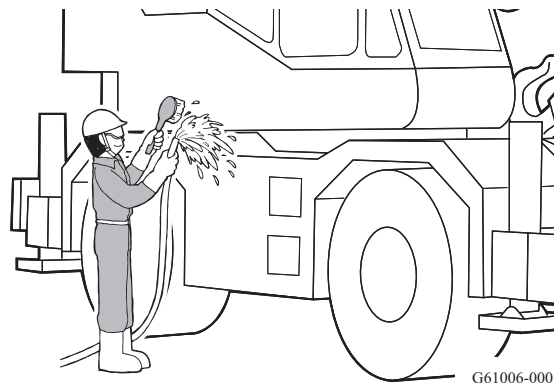


G61005-001

・機械を洗浄してから点検・整備

機械が汚れていると不具合箇所の発見が困難になるだけでなく、作業時にゴミが混入しやすくなります。また、ほこりや泥が目に入ったり、足が滑ってけがをする危険性があります。

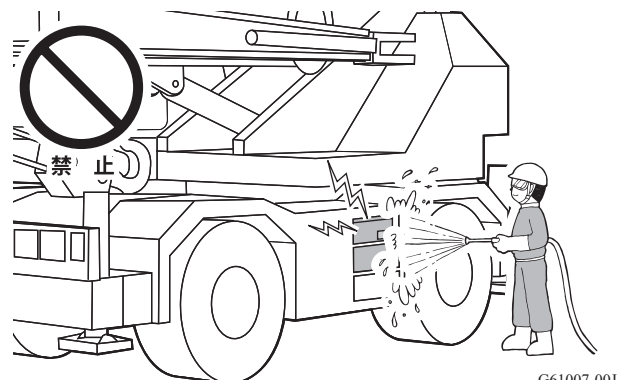
点検・整備をする前に、機械を洗浄してください。



G61006-000

・洗車時の注意

高圧洗浄禁止箇所に水をかけると、ショートして故障する恐れがあります。高圧洗浄禁止箇所には水をかけないでください。



G61007-001

車両部（ゴム部品等）

自動車部品のうち、安全上重要なゴム部品等の材料は経時的に変化して寿命が低下します。

定期点検時における点検では、その後、いつまでも安全に使用できるか予測しにくいものです。安全運転を確保するためにも、次に定めている時期で定期交換してください。

ゴム類を交換した場合はメンテナンスノートに記入し、点検整備管理に役立ててください。

| 装置名 | 重要定期交換部品の名称 | 交換時期 | 備考 |
|--------|---------------------------|------|----|
| かじ取り装置 | ステアリングロック用ホース | 2年 | |
| | ステアリング用ホース | | |
| | ステアリングシリンダのパッキン、Oリング類 | | |
| | ステアリング回路のパッキン、Oリング類 | | |
| 制動装置 | ブレーキホース | 2年 | |
| | ブレーキバルブのシール、Oリング、カップ類 | 1年 | |
| | エアブースタのパッキン、Oリング、カップ類 | | |
| | ブレーキキャリパのピストンシールおよびダストシール | | |
| | ブレーキ用エア機器のゴムおよびパッキン類 | | |
| 緩衝装置 | 油圧サスペンション用ホース | 4年 | |
| | 油圧サスペンション用シリンダのパッキン、Oリング類 | | |
| 原動機 | フューエルホース | 2年 | |
| | リモート式オイルフィルタ用ホース | 4年 | |
| | エンジン冷却水用ホース | 4年 | |
| その他 | エアコンプレッサ用ホース | 2年 | |
| | 走行用油圧ホース | 4年 | |
| | ストップランプスイッチ | 2年 | |
| | セフティバルブ | | |
| | 電磁弁 | 4年 | |
| | 車高・直進検出スイッチ | | |
| | パーキング検出スイッチ | | 2年 |

クレーン部

| No. | 重要定期交換部品の名称 | 交換時期 |
|--------|---|--------------|
| 1 電気部品 | 規制解除スイッチ（過巻等） | 4年または4,800時間 |
| | 検出スイッチ（安全装置用） | |
| | 操作検出スイッチ | |
| | 位置センサ（角度、長さ、旋回位置等） （AML検出用、ブームシグナルトランスミッタ） | 8年または9,600時間 |
| | 荷重センサ | |

点検整備時期（クレーン部）

次の表に、日常（作業開始前）点検、定期自主検査（1カ月以内ごと、1年以内ごと）の点検整備項目を記載しています。

この取扱説明書には、お客様にさせていただき日常（作業開始前）点検の手順を記載していますので、機械を運転する前に点検を行ってください。手順については「作業開始前点検」（373ページ）を参照してください。

定期自主検査の点検整備については、別冊のメンテナンスノートの「移動式クレーンの検査表について」に従ってください。

- ：法定点検
- ：タダノ指定点検
- ◇：タダノ指定シビアコンディション

(*1)：4,800時間または4年ごとに分解して点検する。基礎工事、港湾荷役作業等で使用しているときは、2,400時間または2年ごと。サンドブラスト等、塵埃の多い場所で使用しているときは、適時エアブローでブーム内の塵埃を取り除く。

(*2)：定期点検時に、適正な張力を加える。

| 点検整備項目 | | 点検整備時期 | | | 備考 | |
|----------------------|--------------------------|--------------------------|---------|--------|----|--|
| | | 日常点検 | 1カ月以内ごと | 1年以内ごと | | |
| 点検箇所 | 点検項目 | | | | | |
| 油圧発生装置 | PTO 装置 | 作動、油漏れ | ○ | ○ | ○ | |
| | | 取り付け、損傷、発熱、異音 | | ○ | ○ | |
| | 配管、ホース | 油漏れ、劣化 | ○ | ○ | ○ | |
| | | 取り付け、異常振動、発熱、異音 | | ○ | ○ | |
| | 作動油タンク | 油量 | ○ | ○ | ○ | |
| | | 取り付け、亀裂、汚れ、油漏れ | | ○ | ○ | |
| | | エアブリーザの目詰まり、汚れ | | ○ | ○ | |
| | フィルタ、ケース | 目詰まり、油漏れ、損傷 | | ○ | ○ | |
| | 油圧ポンプ | 作動、油漏れ、異音 | ○ | ○ | ○ | |
| | | 取り付け、緩み、亀裂、損傷 | | ○ | ○ | |
| 操作バルブ | 油漏れ | ○ | ○ | ○ | | |
| | 取り付け、作動、緩み | | ○ | ○ | | |
| オイルクーラー | 取り付け、モータの作動、緩み、油漏れ、損傷、異音 | | ○ | ○ | | |
| アウトリガ装置 | アウトリガ内箱、外箱 | 取り付け、損傷 | ○ | ○ | ○ | |
| | | 作動、曲がり、亀裂、打痕 | | ○ | ○ | |
| | | アウトリガ構造部位の損傷、摩耗、破損、変形、異音 | | ◇ | | |
| | | 溶接構造部位 | | ◇ | | |
| | 重要構造物の取り付け部（ピン、ボルト等） | | ◇ | | | |
| ジャッキシリンダ (保持弁を含む) | 作動、油漏れ、自然降下 | ○ | ○ | ○ | | |
| | 取り付け、緩み、損傷、自然縮小 | | ○ | ○ | | |

ブレーキ液の量

警告

- ブレーキ液が減ると、ブレーキがきかなくなり事故を起こす恐れがあります。液面が低下しているときは、ブレーキ系統に液漏れがないか点検してください。液漏れしているときはタダノ指定サービス工場での修理を受けてください。液漏れがなく液面が低下しているときは、ディスクブレーキパッドの摩耗が考えられますので、パッドの摩耗点検を併せて行ってください。
- 「タダノ純正ブレーキフルード」は、グリコール系のブレーキ液です。誤ってシリコン系や鉱物系のブレーキ液を使用すると、パッキン類を侵してブレーキがきかなくなります。「タダノ純正ブレーキフルード」以外のブレーキ液は使用しないでください。

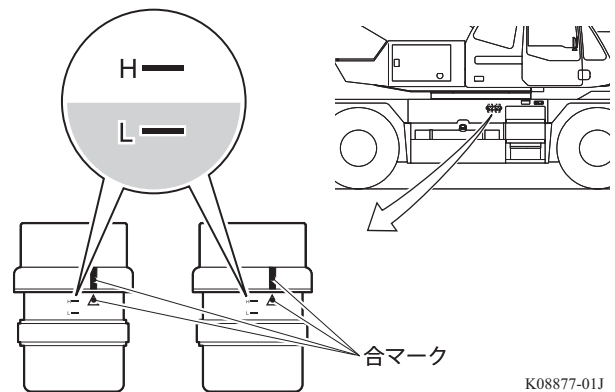
重要

- 銘柄の異なるブレーキ液を混用しないでください。混用すると性状が変化してブレーキシステムに悪影響を及ぼす恐れがあります。ブレーキ液は「タダノ純正ブレーキフルード」を使用してください。
- キャップを外すときはキャップの周囲を清掃してください。
- ブレーキ液リザーバーに異物が沈殿しているときは、タダノ指定サービス工場での点検・整備を受けてください。
- 補給の際、こぼれた液が塗装面に付着すると塗装がはがれる原因になりますのですぐに拭き取ってください。
- ブレーキ液は吸湿性が強いので、交換、補給には、未開封の新品を使用してください。

1. ブレーキ液リザーバー内の液量が規定の範囲内にあるか点検します。

☞ 液面が「H」と「L」の線の間であれば適量です。

2. 不足しているときは、配管系に液漏れがないことを確認します。ブレーキ液リザーバーのキャップを外し、ブレーキ液を「H」の線まで補充します。



K08877-01J

重要

「H」の線を越えると、液漏れの原因になりますので注意してください。

3. 補充後はキャップとタンクの合マークが合う位置までキャップを締め付けます。

フットブレーキの作動具合

エア圧力・上がり具合

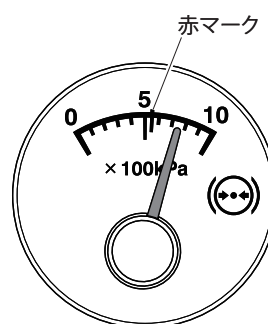
⚠ 警告

走行前にエア圧力計が赤マーク（規定圧力の下限）以下を指し、エア低圧警告灯が点灯しているときは、走行を禁止します。
フットブレーキの制動力低下や、パーキングブレーキの引きずりを起こし、事故の原因になります。
エア圧力が規定圧力になり、エア低圧警告灯が消灯してから発進してください。

エア圧力計の指針が規定値（赤マーク）を超えていることを確認します。

エア圧力が上昇しなかったり、上昇に時間がかかるときは、タダノ指定サービス工場で整備を受けます。

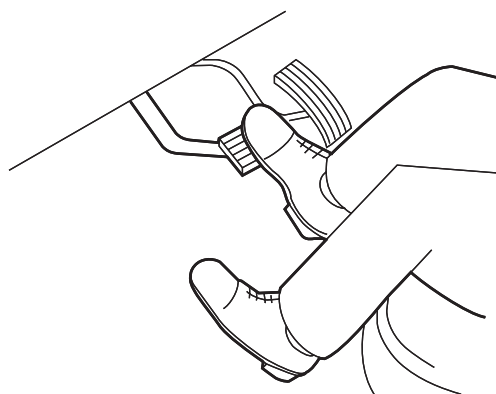
☞ エンジン停止状態でエアタンク内のエアを全部排出してからエンジンを始動し、アイドリング回転でエア圧力計の指針が規定値（赤マーク）を指すまでの時間が6分以内であれば正常です。



K00330-00J

ブレーキペダルの踏みごたえ

1. エンジンをかけた状態でブレーキペダルをいっばいに踏み込んだとき、踏みごたえが適切であることを確認します。
2. ペダルから足を離したときに、ペダルが引っかりなく完全に戻るか点検します。
3. 異常があるときは、タダノ指定サービス工場での整備を受けてください。



G16003-000

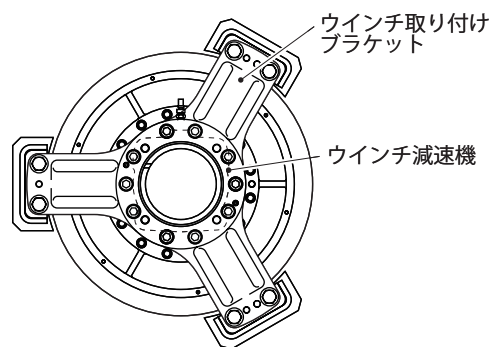
つり上げ装置

☐主巻ウインチおよび補巻ウインチの両方で行ってください。

ウインチの損傷

ウインチ減速機・ウインチ取り付けブラケットの変形、損傷がないか確認します。

変形、損傷があるときは、タダノ指定サービス工場
で点検・整備を受けてください。



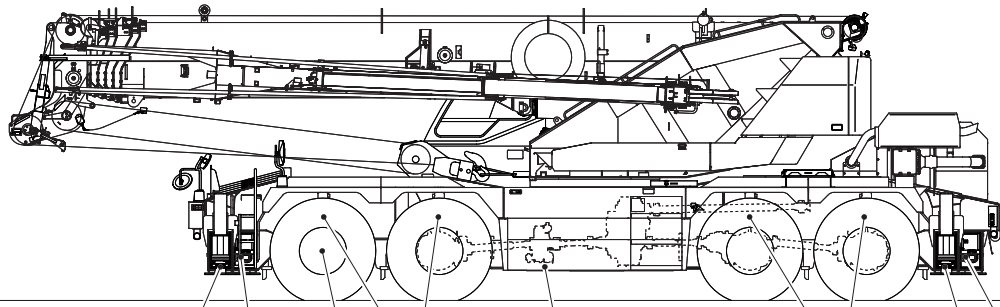
K08881-02J

ウインチの作動状態、油漏れ

1. ウインチ巻き上げ / 巻き下げ操作を行い、ウインチの作動状態を確認します。
2. ウインチ操作後、ウインチから油漏れがないか確認します。

作動状態の異常および油漏れがあるときは、
タダノ指定サービス工場
で点検・整備を受けて
ください。

下部



毎週

(23)

(25)(*1) - (24)

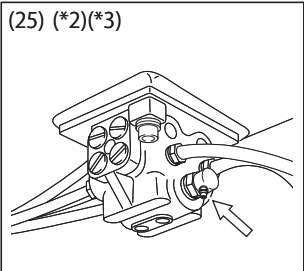
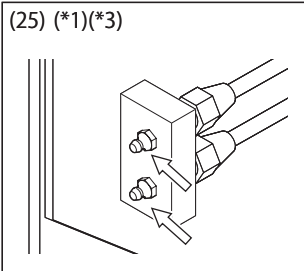
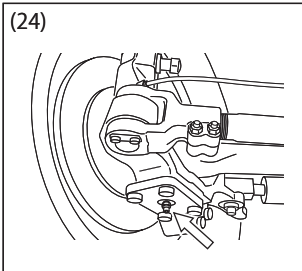
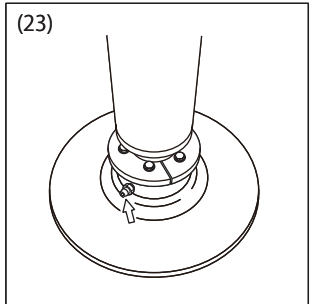
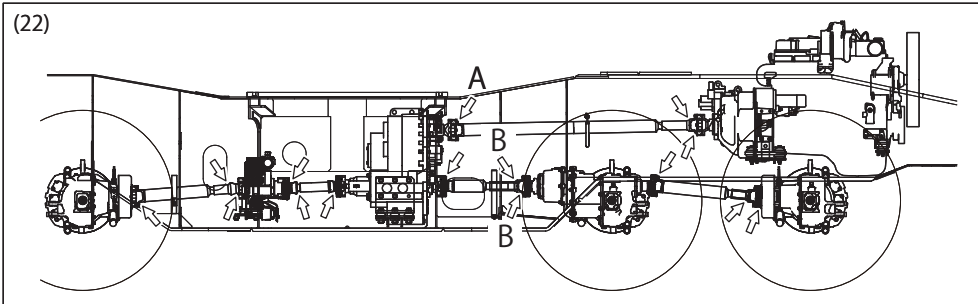
(25)(*2)

(22)

(25)(*2)

(25)(*1)

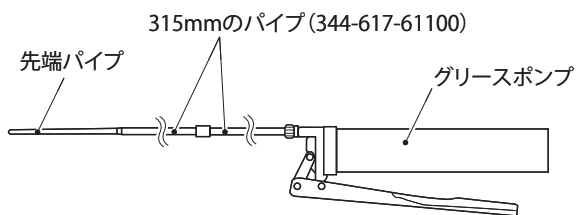
-100h(1カ月)



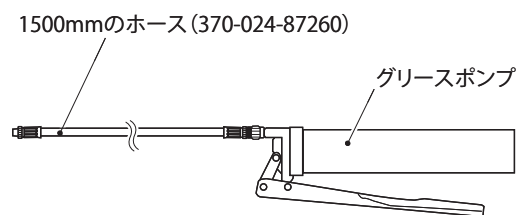
K08072-01J

A 部の給脂にはグリースポンプの先端パイプを外し、315mm のパイプを 2 本継ぎ足してください。

B 部の給脂にはグリースポンプの先端パイプを外し、1500mm のホースをつないでください。



G66003-07J



G66004-07J

(*1) : FE0864 号機以降に適用

(*2) : FE0863 号機までに適用

(*3) : グリースポンプのレバーポンピング回数は 387 ページを参照してください。

DPF

▲ 注意

走行直後は排気管や DPF 本体が高温になっているため、やけどをする恐れがあります。素手で触れる程度まで冷えてから作業を開始してください。

整備表

| No. | 項目 | | 数量 | 点検・整備間隔 | | | | | |
|-----|----------|-------------------------|------|---------|------|-----|-----|-------|-------|
| | | | | 毎週 | 6 カ月 | 1 年 | 2 年 | 3500h | 5000h |
| 1 | DPF フィルタ | フィルタ点検・清掃 および交換 (*1) | 1 カ所 | | | | | | ● |

(*1): フィルタ点検・清掃および交換は、タダノ指定サービス工場へお問い合わせください。

ブレーキシテム

警告

- 銘柄の異なるブレーキ液を混用しないでください。混用すると性状が変化してブレーキシテムに悪影響を及ぼし、事故の恐れがあります。ブレーキ液は「タダノ純正ブレーキフルード」を使用してください。
- 「タダノ純正ブレーキフルード」は、グリコール系のブレーキ液です。誤ってシリコン系や鉱物系のブレーキ液を使用すると、パッキン類を侵してブレーキがきかなくなり、事故の恐れがあります。「タダノ純正ブレーキフルード」以外のブレーキ液は使用しないでください。

重要

ブレーキ液を交換、補充する際は、開封されていない新品を使用してください。

整備表

| No. | 項目 | 数量 | 点検・整備間隔 | | | | |
|-----|-----------------------|------|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | | | 毎週 | 100h 1カ月 | 300h 3カ月 | 600h 6カ月 | 1200h 1年 |
| 1 | ブレーキ液リザーバー ブレーキ液交換 | 2.1L | | | | | ● |
| 2 | ディスクブレーキパッド 摩耗点検 | 8カ所 | | | ● | | |
| 3 | エアドライヤ 乾燥剤交換 | 1カ所 | | | | | ● |

ブレーキ液リザーバー

警告

ブレーキ液は吸湿性が強いいため、長期間使用するとベーパーロック現象を起こし、事故の原因になります。決められた間隔で交換してください。

ブレーキ液交換

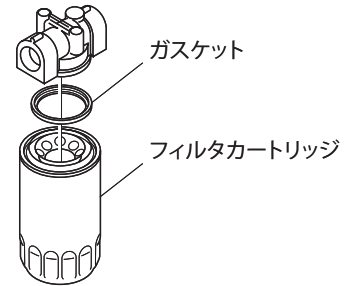
ブレーキ液交換は、タダノ指定サービス工場に依頼してください。

リターンフィルタ（作動油タンク前方）

交換

1. ストラップレンチを用いてフィルタカートリッジを取り外します。

☞ フィルタカートリッジを取り外すと、作動油が少し漏れます。ウエスを敷いておいてください。



2. ガasketに薄く作動油を塗り、新しいフィルタカートリッジを取り付けます。
締付トルク：11.7～15.7N・m {1.2～1.6kgf・m}

G76005-00J

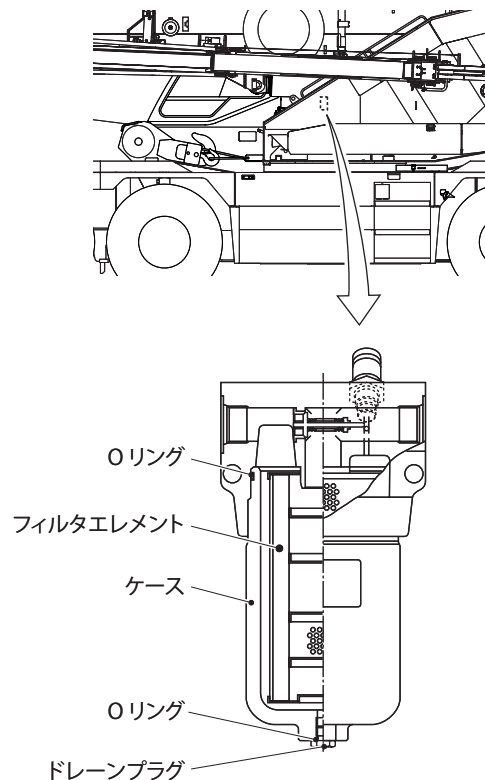
ラインフィルタ（ステアリング・スイング用ポンプ回路）

交換

1. 機械を平坦な場所に設置し、エンジンを停止します。
2. 旋回台中央部ロータリジョイント上のカバーを取り外します。
3. ラインフィルタのドレーンプラグを取り外してオイルを抜きます。

☞ ケース内にはオイルが約1.5L入っています。

4. ケースを取り外します。
5. フィルタエレメントをヘッドから取り外します。
6. 新しいフィルタエレメントをヘッドに取り付けます。



K08888-00J

Vベルト

点検

ベルトの張り具合、損傷の有無を点検します。

| 重要 | |
|----|-------------------------------------|
| • | 調整後はボルト、ナットをしっかりと締め付けてください。 |
| • | ベルトを張り過ぎないでください。ベルトやベアリングを損傷します。 |
| • | ベルトに油脂をつけないでください。スリップしてベルトの寿命を縮めます。 |

| 点検方法 | ベルト中央部を約 98 N (10 kgf) の力で押したときのたわみ量 | ベルトテンションゲージ |
|-------|--------------------------------------|---------------------------|
| 点検時 | 9 ~ 12.5 mm | 265 ~ 441 N (27 ~ 45 kgf) |
| 新品取付時 | 6.5 ~ 9 mm | 451 ~ 666 N (46 ~ 68 kgf) |

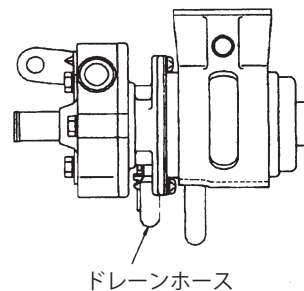
定期交換部品

エアコン装置を安全に使用するため、次の部品を定期的に交換してください。交換作業はタダノ指定サービス工場に依頼してください。

| 定期交換部品 | 交換時期 |
|----------|-----------------------------|
| レシーバドライヤ | 4年ごと |
| ブロワモータ | 5,200時間ごと (使用状態により異なります) |
| 電動ファンモータ | |
| ウォータポンプ | 2,300時間ごと (使用状態により異なります) |

ウォータポンプ

ウォータポンプのドレーンホースから、冷却水（ロングライフクーラント）が少量漏れる場合がありますが、機能上問題ありません。

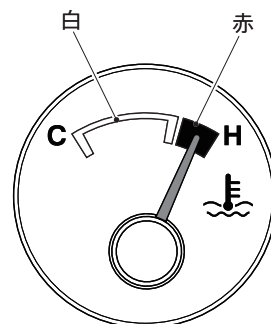


K08873-00J

MEMO

オーバーヒートしたとき

エンジン水温計の指針が赤の領域を示したときは、オーバーヒートです。
次の処置をしてください。



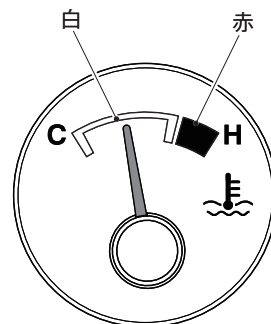
K00500-01J

1. 安全な場所に停車、またはクレーン作業を中止します。
2. エンジンをアイドリング状態で回し続けます。

重要

エンジンをすぐ止めないでください。水温が急上昇し、焼き付くことがあります。


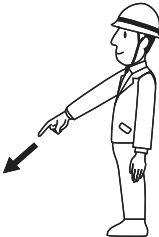
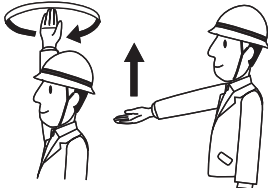
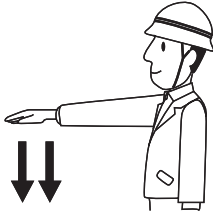
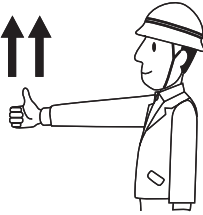
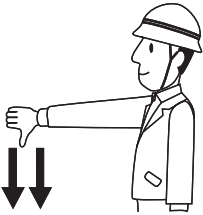
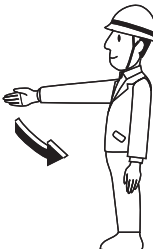
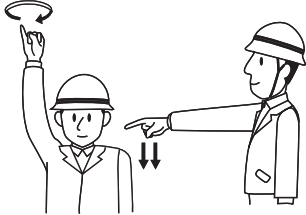
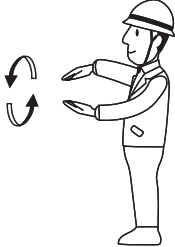
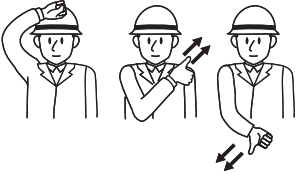


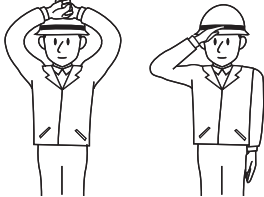
3. エンジン水温計の指針が白の領域の中央付近まで下がってから、エンジンを止めます。



K00501-01J

手による合図

- 合図は定められた1人の合図者によって
- 合図は節度をつけて、明瞭に
- オペレータからは見やすく、作業状態がよく分かり、かつ、安全な場所で

| | | | |
|--|---|---|---|
| <p>1. 呼出し</p> <p>片手を高く上げる。</p>  | <p>2. 位置の指示</p> <p>なるべく近くの場所に行き、指で示す。</p>  | <p>3. 巻上げ</p> <p>片手を上に上げ輪をかく。または腕をほぼ水平に上げ、手のひらを上にして上方に振る。</p>  | <p>4. 巻下げ</p> <p>腕をほぼ水平に上げ、手のひらを下にして下方に振る。</p>  |
| <p>5. ブーム上げ</p> <p>親指を上にし、他の指は握り、水平より上方に突き上げる。</p>  | <p>6. ブーム下げ</p> <p>親指を下にし、他の指は握り、水平より下方に突き下げる。</p>  | <p>7. 水平移動</p> <p>(走行・横行・旋回を含む) 腕を見やすい位置に伸ばし、手のひらを移動する方向に向け、数回動かす。</p>  | <p>8. 微動</p> <p>小指または指示で巻上げ・巻下げ・水平移動の場合に応じて、それぞれの合図をつづける。</p>  |
| <p>9. 転倒</p> <p>両手を平行に伸ばして、転倒の方向にまわす。</p>  | <p>10. ブームの伸縮</p> <p>こぶしを頭の上ののせた後、伸ばすときは親指を上にし、他の指を握り、水平より斜め上方に突き上げる。縮めるときは親指を下にし、他の指は握り、水平より斜め下方に突き下げる。</p>  | <p>11. 停止</p> <p>節度をつけて手のひらを高く上げる。ただし、微動の場合はそのまま指を握りしめてもよい。</p>  | <p>12. 急停止</p> <p>両手をひろげて高く上げ、激しく左右に大きく振る。</p>  |
| <p>13. 作業完了</p> <p>挙手の礼、または両手を頭の上に交差させる。</p>  | <p>笛による補助合図</p> | | |
| <p>呼出し</p> <p>— — — — —</p> | <p>停止</p> <p>— — — — —</p> | | |
| <p>巻上げ</p> <p>— — — — —</p> | | <p>巻下げ</p> <p>— — — — —</p> | |

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL

- Thank you very much for reading the preview of the manual.
- You can download the complete manual from: www.heydownloads.com by clicking the link below



- Please note: If there is no response to CLICKING the link, please download this PDF first and then click on it.

CLICK HERE TO **DOWNLOAD** THE COMPLETE MANUAL